



Japan Region

10th Anniversary

1992

MISSION STATEMENT

The mission of International Training in Communication is to be a world leader in the promotion and provision of opportunities for quality training in communication and leadership skills.

ITC公式声明文

ITCの使命はコミュニケーションと指導力における質を向上させるための機会を進んで提供し、すぐれたリーダーを養成し、社会に貢献することにある。

1991年10月26日ITC役員会採択
Adopted: ITC Board of Directors
October 26, 1991



ITC 宣 誓 PLEDGE

我々、インターナショナル トレーニング イン コミュニケーションのメンバーは、よりすぐれた意思の伝達を通じて、世界中の相互理解促進を願い、指導力の養成と話し方の向上に積極的に努力することをここに誓います。

We, as members of International Training in Communication, hereby pledge to give active thought to leadership training and speech improvement, hoping through better communication to achieve greater understanding throughout the world.

目 次

発刊にあたって	常田道子日本リージョン会長	1
メッセージ	アニタ L. ヘンスラー国際会長	2
	アイ ヨコタ元国際会長	3
	ノーマ W. ユーウィン元国際会長	4
	新木昌子日本リージョン初代会長	6
編纂にあたって	高柳恭子10周年記念事業委員会委員長	7
ITCの起源		8
日本でのITCのはじまり		9
	名古屋クラブ、阪神クラブ、神戸クラブ誕生の歴史	9
ITCの組織		12
ITCの分布図		13
グラフにみる日本の会員数		14
日本リージョン歴代会長		16
日本リージョン選出役員		17
リージョン大会開催記録		18
スピーチコンテスト優勝者		20
表彰		22
リージョン大会 教育・訓練のワークショップ		24
クラブ一覧表		29
ITC役員・委員としての活動		31
世界大会のプログラム参加者		32
世界大会スピーチ及びテーブルコンテスト参加者		34
日本に於けるITCの歴史年表（1949－1992）		35
記録写真集		47

沿革史発刊にあたって



日本リージョン会長 1991～1992
常田 道子

1982年6月4日、日本におけるITCの歴史に新しい足跡が記されました。日本リージョン設立大会が、京都で行われたのです。当時16クラブ、会員たちは感動に目を輝かせて一堂に会しました。

今10年の歳月を経て、日本リージョンは会員数約1750余名、67クラブという世界一大きなリージョンに成長致しました。

この沿革史は1949年初めて名古屋クラブが誕生して以来の日本ITCの歴史の収録です。

歴史の物語るものがあれば、それをしっかりと見つめ、未来への足掛かりとして生かしてゆくこと、それが組織の永続のために大切ではないでしょうか。そしてそれは現在メンバーである私たちの使命であろうかと思えます。

日本リージョン10周年にあたり、歴史を風化させてはいけないとの思いから取り掛かった沿革史の編纂でした。想像以上の困難はありましたが、43年の栄光の歴史を記録として1冊に纏め、将来に贈るという価値ある仕事にかかわらせて頂けたことを大変嬉しく存じます。編纂に携わられた委員の皆様、ご協力くださいました各レベルの皆様方に心から感謝申し上げます。

日本リージョンの今日を築き上げられた多くの方々の情熱と献身の伝統を、これからも引き継いでITCの理念を生かし日本リージョンのさらなる発展を願ってこの沿革史を発刊いたします。



Anita L. Henzler
International President
1991-1992

Members, Japan Region

On the occasion of Japan Region's 10th anniversary, I extend my greetings and congratulations. I am sure each member takes pride in this occasion, and appreciates the efforts and support of those earlier leaders who worked to make Japan Region a reality. Effective communication is important in all areas of life, and will be as significant in the future as it is today. My anniversary wish for Japan Region is that it will continued to grow and provide training opportunities for future generations.

Sincerely,

Anita L. Henzler
International President

ITC国際会長

アニタ L. ヘンスラー

日本リージョン会員の皆様

日本リージョンの創立10周年をお迎えになりましたことを心からお祝い申し上げます。

会員の皆様はこの祝典を誇りに思われ、先輩のリーダーたちが日本リージョンを現実のものにした努力と支持に対し感謝していらっしゃるものと存じます。

効果的なコミュニケーションは生活のすべての面で重要であり、現在においても未来においても意義深いものであります。日本リージョンがますますご発展をなされますよう、今後も訓練の機会を与えられますようお祈り申し上げて私の祝辞とさせていただきます。

MEMBERS OF JAPAN REGION

At this tenth anniversary of Japan Region I sincerely welcome the opportunity to applaud all the members of Japan Region. The positive strides made by Japan Region over the past ten years, with significant growth in membership and effective leadership are the result of each member.

In 1978, as ITC President, I chose the ITC Convention Theme
Pride - Performance - Professionalism

I truly believe those three words represent your region today. I am too justly proud of Japan Region for your members have fulfilled my dream and vision of my first visit to Japan many years ago.

My best wishes to your President Michiko Tsuneda and your members for an especially successful regional conference. May the members of Japan Region continue with distinguished success and strive for excellence in our great organization International Training In Communication.

Ome de to go za ee masu!

Most sincerely,

Ai
Ai Yokota
ITC President 1977-78



Ai Yokota
International President
1977-1978

元ITC国際会長
アイ ヨコタ

日本リージョン会員の皆様

日本リージョン10周年に際し、日本リージョンの会員の皆様に心から拍手を送らせて頂きます。過去10年間を通して日本リージョンの会員の増加と効果的なリーダーシップを伴う確実な歩みは会員一人一人の結晶であります。

1978年ITC国際会長として私はITC世界大会のテーマを「自尊心・実行・専門的技術」としました。私はこの三つの言葉は誠に今日の貴リージョンを代表するものと信じます。私が日本リージョンを誇りに思いますのは当然です。何年も前に日本を初めて訪問した時抱いておりました私の夢とビジョンを日本リージョンの会員が達成して下さったからです。

常田道子会長並びに貴会員の皆様にとってリージョン大会が格別の成功でありますようお祈り申し上げます。また日本リージョンの会員が私たちのこの素晴らしい組織であるインターナショナルトレーニング イン コミュニケーションでより優れた成功及び卓越に努力することを願っております。

おめでとうございます。



Norma W. Ewin
International President
1981-1982

Greetings to Members of Japan Region,

I am delighted to have the opportunity to send you greetings on the occasion of the 10th Anniversary of the formation of the Japan Region.

My association with the members in Japan goes back a long way, in fact to 1971/72 when as Vice President for Areas Outside North America, I worked with the leaders of ITC in your country to help with the formation of the first Japanese Council which commenced its operation at the beginning of the next term.

I have very happy memories of my first visit to your country in January 1977, when we talked about the need to have the Education Manual translated into the Japanese language. I was enroute to an International Board Meeting where I promised to try and obtain a grant from the Endowment Fund for the translation.

Prior to the Board Meeting the International Officers were being entertained at lunch by members of Blue Ridge Region in Norfolk, Virginia, U.S.A. and President Frances Briscoe invited the Division V Vice President and myself as Division VI Vice President to speak. I remember very vividly, telling that audience of ITC members how wonderful it would be if the Japanese members could have the Education Manual in their own language and how quickly ITC would grow in Japan if that happened and that when we went to the Board Meeting it was my task to convince the other Board Members to grant the Japan Council \$US1,600 for this purpose. This statement was greeted with loud applause. When the President returned to the microphone, she said "On Capitol Hill in Washington, that's known as lobbying, Norma".

I do believe the enthusiasm of the ordinary club members in Blue Ridge Region made my task very much easier to convince the Board Members later on to grant that money to Japan. That was \$US1,600 very well spent. We were right. The Education Manual in Japanese was the key to a whole new era for ITC in your country. Haven't you grown since that manual was translated? Back in January 1977 you had 9 Clubs, 213 members and one Council and now I'm told you have 65 Clubs, over 1600 members and 8 Councils.

Japan has provided convincing proof that the ITC program can cross language and cultural barriers. Your success in building a Japanese ITC has justified all the hopes of those leaders who worked for that from the beginning.

I was so proud to be present at your first Regional Conference in June, 1982 and to have the privilege, as your International President, to install Masako Araki as your first Regional President together with the other officers. You were extremely fortunate to have such strong leadership in your first term as a Region and I congratulate you on the wonderful progress that has been made in the past 10 years and send my best wishes for the future to all members.

Sincerely,

A handwritten signature in cursive script that reads "Norma W. Ewin".

Norma W. Ewin
Past International President

元ITC国際会長
ノーマ W. ユーウィン

日本リージョンの会員の皆様へ

日本リージョン創立10周年に際し、お祝い申し上げる機会を与えて頂きまして嬉しく存じます。

日本の会員の皆様と私とは随分と長いおつきあいです。それは、1971-1972年度北米国地域外(AONA)副会長として、貴国のITCの指導者たちとお仕事を共にし、次期から活動する最初のカウンスル設立のための援助をした時からのことです。

また、1977年1月に初めて日本を訪問しましたおりに、教育マニュアルを翻訳する必要性について話したことを懐かしく思い出します。国際役員会に出席する途中日本に立ち寄りましたので、翻訳費のための基金からの援助金を役員会に承認して貰うよう努力することを約束してお別れしました。

国際役員会に出席する前にアメリカのバージニア州ノーフォーク市でブルーリッジリージョンの昼食会に招かれました。当時の国際会長フランシス ブリスコーの指名によりディビジョンV副会長と、ディビジョンVI副会長の私がスピーチをすることになりました。今でも鮮明に覚えています。そこで聴衆のITC会員たちに、日本カウンスルの会員が日本語に翻訳された教育マニュアルを持つことになれば、日本でのITCの成長はどんなに早くなるか、そして、そうなるようにこれから出席する役員会でそのための1,600ドルを日本カウンスルに補助金として基金から出すよう役員たちを説得するのが私の任務であるということ話をしました。このスピーチは拍手喝采で歓迎されました。会長がマイクに戻られた時、「今のようなスピーチはワシントンの国会議事堂では議案通過運動として知られているものですよ、ノーマさん」と言われました。

このブルーリッジリージョンの一般会員の熱意こそ、後日役員会で日本への補助金を役員に承認して貰う私の任務を大層たやすくする助けになったと信じます。あの1,600ドルは価値ある出費でした。私たちは正しかったのです。教育マニュアルを日本語に翻訳したことは、貴国におけるITCの新しい時代の鍵になったのです。マニュアルが翻訳されてからどんなにか発展されたことでしょう。1977年には9クラブ、213会員、1カウンスルでした。それが今では65クラブに1,600名以上の会員と8カウンスルになられたそうです。

日本はITC活動が言葉や文化の違いを乗り越えることができる確かな証拠を示されたのです。日本におけるITCが成功したのは初めからそれを目標として働いてきた指導者たちの期待を正当化したのです。

1982年6月に私がITC国際会長として日本リージョン大会に出席できたことは、大変光栄に存じます。そして、日本リージョン初代会長としての新木昌子さんをはじめ他の役員就任を司る役目を務めたことは大変な名誉でした。

貴リージョンが第一期にしっかりしたリーダーシップのもとで発足されたことは非常に幸であったと思います。そして、この10年間の素晴らしい進歩を心よりお祝いしますと共に全会員のご幸福をお祈り申し上げます。

日本リージョン10周年記念を迎えて

日本リージョン初代会長
新木 昌子

日本リージョンの10周年を迎えまして、改めてITCの発展振りに目を見張るばかりでございます。10年前、リージョンは3つのカウンスルとクラブは16で発足しましたが、現在はカウンスルが8つにもなり、67クラブに1750余名の会員で、その発展振りは日本をおいてほかの地域では見られない増強であります。

おもえば、日本のITCが名古屋で初めて1949年に承認されてからカウンスルができる迄、その進歩は殆ど皆無に近いものでありました。阪神クラブが1965年に発足した6年後に神戸クラブがやっと3番目のクラブとして設立されました。その同じ年の1982年にITC本部から広報担当副会長、アイ・ヨコタ女史が来日して日本のITCの発展のため是非3つのクラブでカウンスルを設立するように熱心に説得され3クラブの同意がありました。

翌1973年に創立したカウンスルNo.1を設立する順を具体的に文通により何度も細部に亘る指導をして頂きましたのが当時の北米国地域外(AONA)担当副会長ノーマ W. ユーウィン女史でした。ユーウィン女史はその後ITC国際役員として日本の発展は翻訳にあると常に関心を持って日本の情勢を良く理解して頂きました。そして1977年1月にディビジョンVI副会長として初めて日本を訪問されITC教育マニュアルの翻訳を奨励して、本部の役員会で翻訳と印刷費用1,600ドルの補助金を要求し認可されたのも彼女のお力によるものでした。ITC教育マニュアルの翻訳は1977年12月に完成され全会員の手に渡った時の感激のある会員が「宝石が一杯きらめいている宝の箱を開くような思い」と表現された事を思い出します。世界で初めて英語以外の言葉でマニュアルが出版されたのが日本語で当時はITC組織として非常に画期的な出来事として注目をあびました。そして日本のITCの発展はこのマニュアルができた時から始まったものと思われまます。

1978年にITC国際会長としてアイ・ヨコタ女史が再度来日された時、クラブ数が最初の三倍以上になったその進歩を高く評価され、近い将来には次のレベルのリージョンの設立を勧告して日本の発展を期待されました。日系アメリカ人としてITCの国際会長に就任されたヨコタ女史は日本の会員の誇りでもあり、親しみもあり、リーダーとして尊敬の的でした。女史の勧めにより1981年にはカウンスルNo.1を3つに分割してリージョンを発足する準備をすることになりました。

こうして10年前、1982年に日本リージョン設立大会を京都で開催した時にノーマ W. ユーウィン女史をITC国際会長として再びお迎えできたことはこの上もない光栄でありました。

毎年ITC国際役員が公式訪問者として日本リージョンで指導して下さいます。その中でも日本のITCの発展に特に力を入れ、歴史上重要な役割を演じご指導下さいましたヨコタ女史とユーウィン女史は私ども日本会員にとりまして忘れてはならない素晴らしい指導者であります。

リージョンの最初の目標は増設と、翻訳に力を入れ、プログラムを充実することでありました。そこで、翻訳する会員の献身的奉仕により教育マニュアルに加えて他の教育資料も年々増え、それに従いクラブの増設も盛んに行われるようになりました。

3カOUNSルから8カOUNSルになる迄の過程は色々な問題もあり困難もありましたが、代々の役員会とメンバークラブのコミュニケーションと努力により最善と思われる解決法で処理されてきました。リージョンは発展と共にITC組織全体の活動にも目を向けるようになり、日本から国際役員ディビジョンVIに2人も選出されたことは日本リージョンの功績として記録されています。

会員の増加に伴い運営も複雑繁忙になったため、リージョン役員及び全会員の便宜を計るのに1988年に事務局が設立されました。そして教育資料や物品の管理と作業所を兼ねた事務所も設けリージョンの業務を行うことになりました。この日本特有なITCの組織構造はリージョン歴代の役員の信念と会員の熱意により築き上げられたものです。現在は翻訳登録制度も確立され、最近ITC本部で発行しました新しい教育マスターマニュアルも登録翻訳者により立派に翻訳されまして、リージョン10周年を記念する有意義な業績になりました。

日本リージョンが、21世紀に向かってより大きなビジョンを持って更に飛躍することを期待いたします。また、過去の歴史と経験を土台にして、日本リージョンの質の水準を高め、人間関係を大切に、ITCの目標のコミュニケーションとリーダーシップの養成に専念して、益々ITCが日本で発展することを願いたします。

43年の沿革史を編纂して

10周年記念事業委員会委員長 高柳 恭子

戦後まもない名古屋の地に、その名も聞き馴れない“トーストミストレスクラブ”が一つ誕生しました。それから今日まで43年の歳月が経ち、その間にこのクラブは全国各地に大きく輪を広げました。

ひとつの活動、組織を守り続け、しかも今日のような発展を齎らしたということは、日本の婦人たちが創設者、アーネスティン F ホワイト女史の創立精神をよく理解したという「証し」でもありますが、それは人が集まって互いに援けあい啓発しあうことの素晴らしさを、喜びを訓練の中で学ぶことによって、また新たな友にも声をかけ、伝えてきたこの活動を着実に積み重ねてきた賜ものでもあります。そこには目に見えない、測りしれない会員の情熱と奉仕の精神も込められていることを忘れてはならないと思います。

しかし月日の流れはどんな感動的な出来事でも、人の記憶からどんどん薄れていってしまいます。この沿革史が、今日までの先人の足跡を伝えることができ、再びその中から感動を蘇らせることができ、会員の方にまた新たな決意と明日への原動力の一助にもなればこんな喜びはありません。

43年の時の刻みは「控えめに、沈黙は金」とされてきた日本人、殊に日本婦人の美德を大きく変えつゝあります。自分の主張を、人と異なった意見でも的確に堂々と人に伝えることができるよう、また他の人の意見も正しく受けとめ、きけるようになる訓練を行うITC、コミュニケーションの重要性は今や地球規模で高まってきていますが、この組織は半世紀前からその重要性を説いてきているのです。それがまたITC精神の原点なのでもあります。私たち会員は今一度、ここにその自覚と自信をもって、一そう組織活動を広く進めていき、その活動を通して自分自身の成長に、また人々の、社会の平和に少しでも貢献することができればと願っております。

ITC の 起 源

「もし私たち皆が、自分の限界を認識して、最善を尽くし、あるいはその限界の幅を少しでも広げようと努力すれば、そして、もし私達のクラブやITCをとおして、他の人びと全てに私達の得た経験を自由に使ってもらえれば、その時、この組織は無限の可能性と女性の歴史と進歩と向上に計り知れない大きな役割を演じることでしょう。」

これは、ITC初代会長アーネスティン ホワイト女史の言葉です。彼女は、未来への展望として、国際組織を作るとという夢の種をまきました。ホワイト夫人の夢は、1938年に実現しました。9月に国際トーストミストレスクラブの第1号が正式に設立登録されたのです。それから1年後、最初の大会が開かれるまでにアメリカ合衆国では、大部分は中西部および西部ですが、それらの地区で20ものクラブが設立登録されました。

1938年に、カリフォルニア州に法人として設立されたものに続いて、この組織の会則に「宗教・人種・経済・社会・政治のどの部分にも偏見を持たずに自由に促進し開かれた討論を目指す」という方針を打ち出しました。11頭表現の技術を通じ、指導性や責任を持って社会に貢献するというこの信条が、一貫して組織の成長を促進しています。

マガジン“トーストミストレス”の発行は、1938年12月に始まりました。翌年の初頭、1939年にカリフォルニアのサンノセで最初の大会の招集を実行させました。「私達は言葉を愛し、優雅且つ流暢にそれを用いる。」というITCのモットーは、1940年のカリフォルニア州サンタバーバラの大会で正式に採択されました。

1942年の第4回年次大会から、スピーチコンテストが開始されました。1946年にはカナダで最初のクラブが結成され、1948年にはスコットランドで最初のクラブが設立登録をしました。このように成長を続けた結果として、1948年に6つのリージョンを設立するまでに至りました。それ以後も拡大の要求によりリージョンはずっと増え続けています。1968年に初めて大会をアメリカ合衆国の外へ出て、カナダのアルバータ カルガリーで開催しました。

ITCへの興味は、全世界の国の人びとに広がっています。オーストラリアは急速の会員の増加を経験したため、1969年に北米以外の場所としては初めてリージョンを設立しました。同様の形で、1970年代の初めには英国とニュージーランドに、そしてアフリカにリージョンができ、1980年代の初めには日本がこれに続きました。このように組織は国際的な様相を強め、その影響の範囲を広げました。この成長図式は、1985年のアイルランドリージョンの結成にも及んでいます。

今日、ITCは達成という言葉と同意語です。アーネスティン ホワイト女史がしっかりと植えつけたその当時の組織は彼女と同年代の人びとのたゆみない努力により国際的団体に発展し、伝達の訓練を求めている世界中の人達に友情のきずなを提供しています。

1984年7月、テキサスのダラスで開かれた第43回年次大会で、派遣員により重要な決定がなされました。それは派遣員がこの組織の名称を変更するという決議に票を投じ、名称が「インターナショナル トレーニング イン コミュニケーション」と変更されたことです。1985年、マガジンの名称も変更され「ITCコミュニケーター」となりました。

「世界がもっとよくなるようにと、人びとが望むから、また、そうなるように適切な歩みをつづけていくから、世界はよりよくなるのです」

創始者 アーネスティン ホワイト

マスターマニュアルより

日本でのITCのはじまり

名古屋クラブ

1949年（昭和24年）7月6日、日本ITC名古屋トーストミストレスクラブが認証された。デュモント夫人、パッセール夫人とマッキー夫人によって創設された。初代会長はエリックソン夫人であった。会員はすべて米軍空軍将校の夫人であったがその目的は将来は全て日本人の会員にすることであった。

当時、名古屋市には米軍第5空軍司令部が駐屯していて、進駐軍の軍政部の商務官であったクラーク ジョージの夫人により日本婦人にも国際トーストミストレスクラブズに参加するように呼びかけがあった。戦後初めての総選挙で婦人参政権が実現し（1946/4/10）39人もの女性代議士が誕生するという時代で女性にとっては戦後の曙であった。日本の婦人達も今後は社会への進出や、地域活動に参加の機会も多くなることが予想されるし、日米の親交を計りながら民主的なリーダーシップを学んで貰いたいとの主旨であった。

しかし日本は未だ戦後の整理ができていず、このような国際的組織への加入には政府の許可が必要とされていた。種々の手続きを経て、1951年に文部省の許可がおりた。これは平和条約発行の前年のことであった。

その年の9月に役員就任式典が丸栄ホテルで開催された。役員は全て日本人が就任した。この時の会長は山本三重子であった。会員はアメリカ人6名、日本人22名で構成された。日本人の会員は行政、財界、教育関係者の夫人達、アメリカ人は空軍司令部の高官の夫人達であった。日本の歴史上、女性がこのように国際的組織への加入を許されたのは初めてのことであり、50名もの報道関係者がこの式典を取材するために集まった。

その後、会合は毎月2回、通訳をおいてバイリンガルで開かれた。トーストミストレスハンドブックが増田信雄氏により翻訳されたが、内容は全てが日本婦人のそれまでの実生活とはかけ離れた目新しいことばかりなのでアメリカ婦人達によって一つ一つ指導され勉強した。この会合での会話、スピーチ、分析聴取法、円卓討議やリーダーシップの訓練、またアメリカ会員たちの人前での表情豊かな自然なスピーチなどコミュニケーションの技術をお互いに熱心に訓練し、評価にあたる人は適切な評価をし、またそれを素直に受け入れ向上への努力をする様子は目を見張るばかりであった。当時の日本婦人にとってこのようにユニークな会合に出て勉強することはたいへんな刺激であり毎日が画期的な挑戦で、緊張と興奮の連続であった。そして、アメリカ人の会員の指導により会の運営法や議事法等も一生懸命に勉強をした。会合はアメリカ会員の自宅で行ったり、お正月やお節などの季節には日本会員の自宅で行い、文化の交流も計った。また、役員交代式には会員の夫君たちを招待し、トピックスなどに参加して貰いトーストミストレスクラブへの理解を深めた。

以後16年間、関西に阪神クラブが設立されるまで、名古屋クラブは日本唯一のITCクラブとして、会員はお互いに助け合いよりよいコミュニケーションを学び、ITCの方針に忠実に従い自己向上に励んだ。

今にして思えば、この一粒の種は会員たちの緊密な共同作業と調和と友情の中での学習によってはぐくまれ、現在の日本リージョンの飛躍的發展に結実したのである。ITCの訓練は同時に他にも影響を及ぼす事であり、目まぐるしく変化しつつある世界の中においても大きな役割を演じ続けて行くであろう。

阪神クラブ

大阪神戸アメリカ総領事夫人ダフネ ステグマイヤーと阪神クラブチャーター会長山本尚は、かつて名古屋トーストミストレスクラブの会員であった。何年か後、再会された二人は、多くの外国人が居住している阪神間に、国際交流を深めるためにもトーストミストレスクラブを設立しようと話し合ったのは、1965年のことであった。

また、当時アメリカ文化センターに勤め、総領事館にアドバイザーとして勤務していた星野富士子に、このことを熱心に説明した。つつましやかで控え目な夫人は、人前で話をしなければならない経験から、将来日本婦人にとってもきっと必要となるだろうと、この訓練の必要性を説き、日本人のために尽くしたいと念願した。星野は英語に堪能であり、このクラブの組織・趣旨・目的を理解し賛同した。

その年の2月、ステグマイヤーと星野は、当時の金井繁子兵庫県知事夫人を訪問し、トーストミストレスクラブを阪神間に設立したい旨、協力を請うた。

当時のことを金井夫人は回顧して次のように語っている。

「ご説明を受けても会の趣旨がのみこめなかったが、かねてより敬服し、信頼している総領事夫人の考えていらっしゃることであるのでご協力申し上げた。トーストという聞きなれない言葉を耳にした記念すべき日でした。」

早速、総領事館官邸に星野、金井、山本、秋保仁子たちが集まり、組織の説明、設立にむかっただの相談がなされた。クラブ10周年誌によると、ステグマイヤーは多くの日本婦人とも交流しており、阪神間在住の婦人を対象に、1人が5人ずつ責任をもって紹介し、30人の会員を獲得しようということになり、発起人たちが、それぞれの知人に声をかけた。

3月の説明会には伊庭、広瀬、菊池、バスカム等、外国人を含めて、35名近く集まった。トーストミストレスの組織と趣旨目的の説明が、すべて日英両国語でなされた。会員は日本人20名、外国人10名とし、会場は暫くの間領事館を使用、会合の日時、会合は日英両語で行う、などが取り決められ入会希望者を募った。

1965年4月23日、第1回の会合が開かれた。クラブ設立のための会費を決め、暫定的に会長には山本尚が就任、副会長、書記、会計は発起人がその任にあたり、クラブはスタートした。

こうして1966年7月に正式にチャーター式典を迎えるまで、毎月例会は開かれたが、会場が芦屋市民会館に決まるまで官邸を使用した。常規が決められ、ハンドブックを手にしたのは9月であった。プログラムは日英両国語で行われ、主に文化の交流、日本の習慣などがスピーチのテーマであったが、星野、沼野たちが同時通訳に当たった。『阪神クラブ会則』が出来本部に申請をし、1966年6月16日に認証（#1594）され、チャーター式典は7月1日、神戸ポートホテルにおいて、正会員27名、準会員20名で行われ発足した。当初クラブを支えた外国人メンバー、エリオット・ヘリングたちのクラブづくりへの貢献は大きい。

神戸クラブ

神戸クラブ設立のためのオリエンテーションは、1972年3月18日、神戸市中央区山本通の神戸バプティスト教会で、阪神クラブのマキシム バスカムによって行われた。この第1回オリエンテーションの参加者は、バルク良子、ジョアン イングルハート、早川とみこ、ダスティ ナイズリィ、サク サミュエルの5名であった。マキシム バスカムがトーストミストレスの「What and Why」を説明し、参加者の質問に答えた。

4月に行われた第2回会合で、ダスティ・ナイズリィが暫定会長に選ばれ、バルク良子が副会長(会員担当)に、サク サミュエルが書記に選出された。

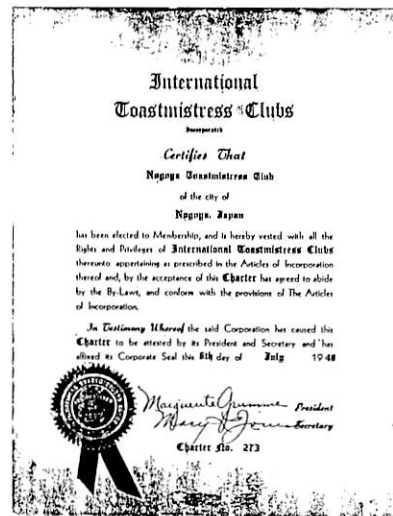
オリエンテーションには、その他、阪神クラブの山本尚、武田とし子、河野千恵子が尽力した。

このようにして、神戸クラブは日本で初めて英語クラブとして発足したのである。認証式典は1972年12月13日、神戸貿易センタービルのレストランバーグで、チャーター会員16名、来賓37名の出席のもとに行われた。阪神クラブ会長ジーン ジョイスが、チャーター会長ダスティ ナイズリィにITC本部からの認証状(1972年8月1日付、チャーター番号2173)を手渡した。又お祝いとして阪神クラブからギャベルとベルを、名古屋クラブからはストップウォッチがそれぞれ贈られた。港神戸に誕生した神戸クラブは国際都市にふさわしく、いろいろな国籍の外国人が会員となり現在のクラブの基礎を成したのである。

このように、日本でのITCは1949年設立後30年近く3クラブのみであったが、1973年にカウンスルが設立されるやクラブ数は徐々に増し、さらに1981年にはカウンスルが3つに分割された。そしてついに今から10年前の1982年に3カウンスル、クラブ数16を数える日本リージョンの発足を見たのである。

その後今日までの10年間にさらに8カウンスル、67クラブ、会員数1750余名を有する世界最大のリージョンに成長するに至った。

この近來の急速な発展は広報や増設活動が活発に行われるようになり、また次々に翻訳される豊富な資料をもとに会員が十分な教育が受けられるような豊かな環境も大きな要因ではあるが、忘れてはならないのは日本でのITCの基礎を成したこの3クラブへの骨身を惜しまぬ献身的な協力者の恩恵とチャーター会員のたゆまぬ努力であろう。



名古屋クラブ認証状

【この「日本でのITCのはじまり」は新木昌子、菊池悦子記述によるものと、神戸クラブ歴史記録から抜粋、編集したものである。文中敬称略】

ITC の組織

ITC本部

(アメリカ・カリフォルニア州アナハイム)



日本リージョン

カウンスルNo1	カウンスルNo2	カウンスルNo3	カウンスルNo4	カウンスルNo5	カウンスルNo6	カウンスルNo7	カウンスルNo8	
所属クラブ	所属クラブ	所属クラブ	所属クラブ	所属クラブ	所属クラブ	所属クラブ	所属クラブ	
名古屋 葵錦栄 名城 東浜 飛騨 ぎ *千刈	★阪神 *神 *イースト 甲 六 ★御三	神戸 西宮 西宮 姫路 尼崎 舞 しらさぎ	九州 ひろしま 福山 岡山 安大 岡山あくら 瀬戸内	大阪 北豊南 大阪 北田 里山 東	京都 平都 奈良 *北 サタ 琵琶 鴨	都安 良 天 湖 川	鳥取 米松 倉境 米子 マン 出雲 とっとり	東筑 *青 *千 *サン 東 葉 葉 葛 崎

使用言語：* 英語、★ 日本語 英語 併用、
その他は日本語のみ

(選出)

リージョン役員会
会長
次期会長
第一副会長
第二副会長
書記
会計

常任委員会
10. 指名

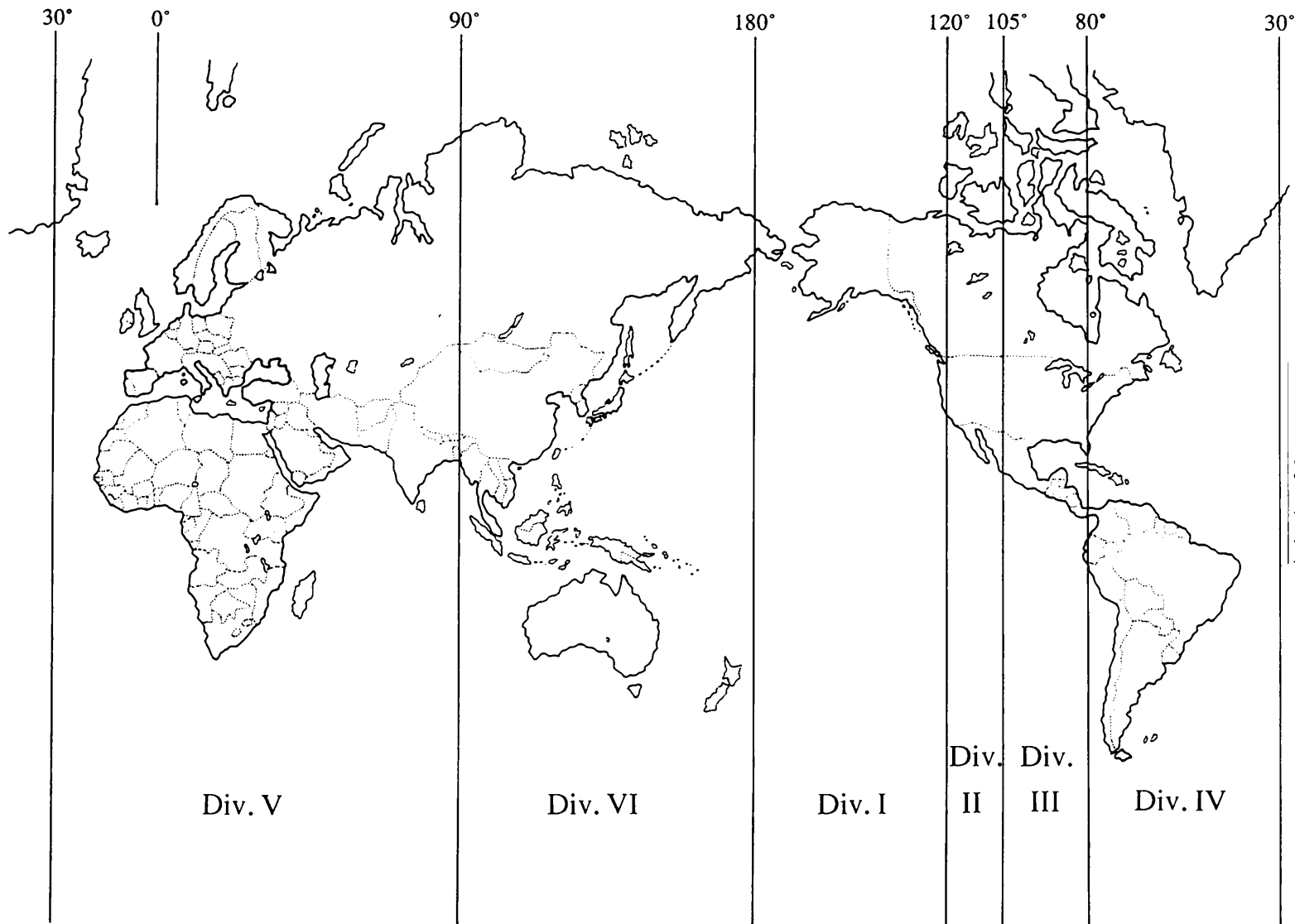
(任命)

議会法規役員
編集者
事務局長

常任委員会

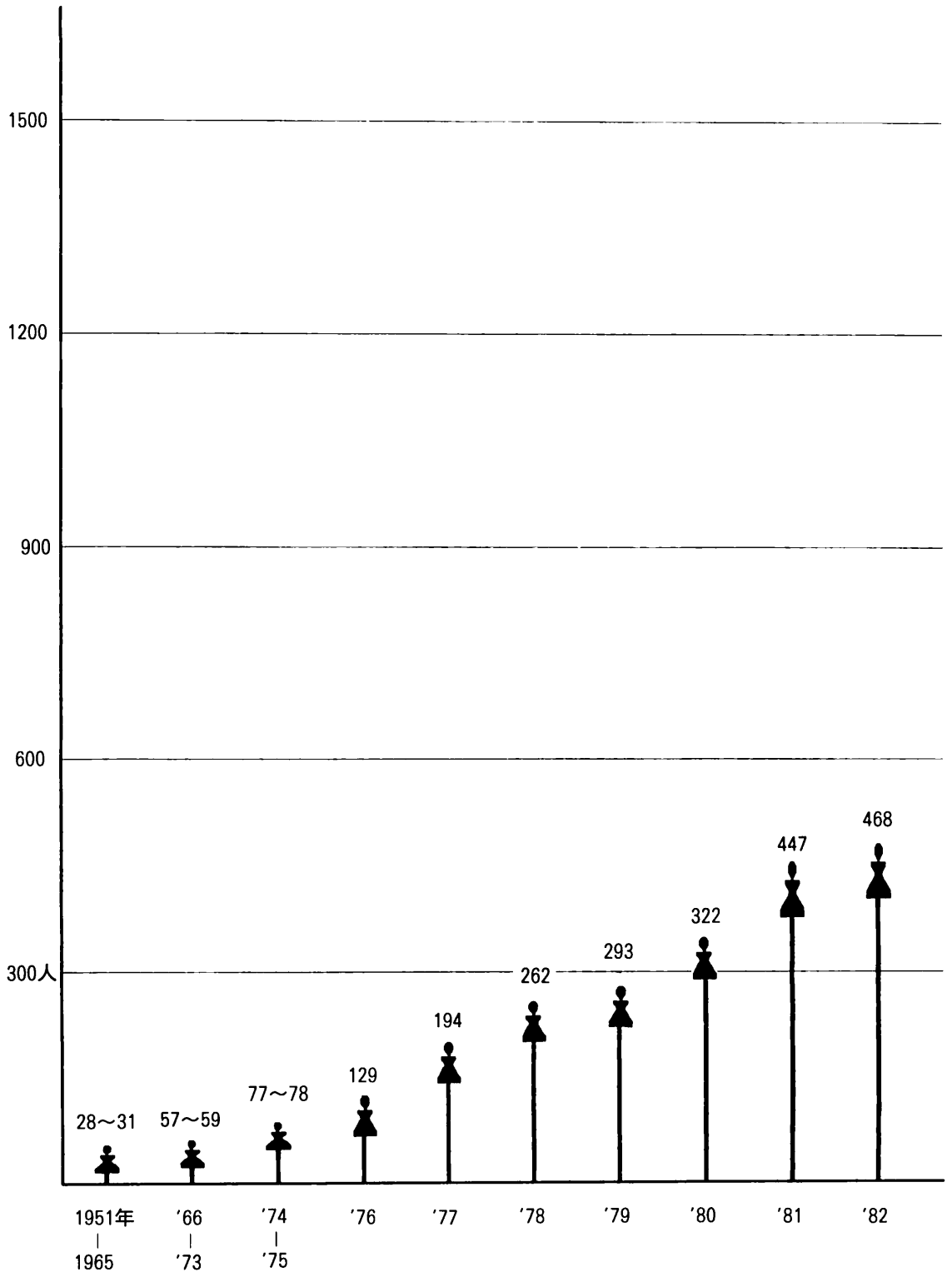
1. 資格認証
2. 会計監査
3. 予算・財務
4. 会則決議
5. 大会準備
6. 選挙
7. 増設
8. 国際交流
9. 会員
10. プログラム
11. 広報
12. 出版
13. スピーチコンテスト
14. 資料
15. 翻訳

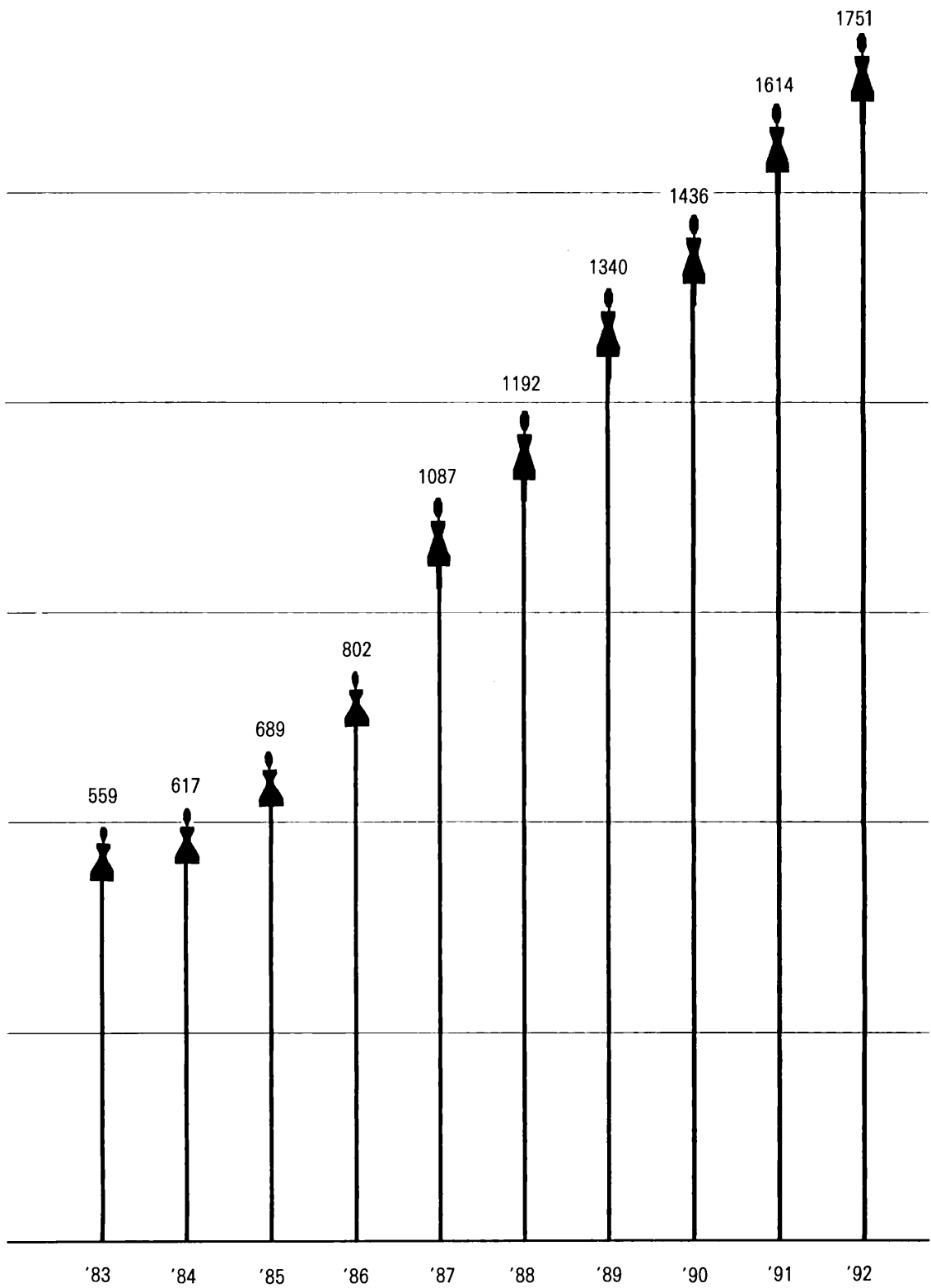
特別委員会



ITC の分布図

グラフに見る日本の会員数





各期5月末現在

日本リージョン歴代会長



ジーン ジョイス



新木 昌子



菊池 悦子



盛田 純子

第1期	新木 昌子	1982~1983
第2期	ジーン ジョイス	1983~1984
	(1990年5月没)	
第3期	菊池 悦子	1984~1985
第4期	盛田 純子	1985~1986
第5期	八代ふゆ子	1986~1987
	(1991年2月没)	
第6期	高柳 恭子	1987~1988
第7期	鈴木 宏子	1988~1989
第8期	バルク良子	1989~1990
第9期	広瀬 忠子	1990~1991
第10期	常田 道子	1981~1982



八代ふゆ子



高柳 恭子



鈴木 宏子



バルク良子



常田 道子



広瀬 忠子

日本リージョン設立委員会

ROC (1981-82)	委員長	新木昌子
	カウンスル役員研修	ジーン ジョイス
	編集者	ジェーン ペイン
	会員/増設	八代ふゆ子
	プログラム/教育	高柳恭子
	広報	山田(広瀬) 忠子
	書記	菊池悦子
	書記アシスタント	ジーン ジョイス
	会計	盛田純子

日本リージョン選出役員

年 度	会 長	次期会長	第一副会長	第二副会長	書 記	会 計
1 (1982-83)	新木 昌子		ジーンジョイス	菊池 悦子	盛田 純子	高柳 恭子
2 (1983-84)	ジーンジョイス		菊池 悦子	盛田 純子	広瀬 忠子	八代ふゆ子
3 (1984-85)	菊池 悦子		盛田 純子	広瀬 忠子	バルク良子	三宮 晶子
4 (1985-86)	盛田 純子		八代ふゆ子	三宮 晶子	江藤万里子	鈴木 宏子
5 (1986-87)	八代ふゆ子	高柳 恭子	三宮 晶子	鈴木 宏子	白江圭穎子	木下あつ子
6 (1987-88)	高柳 恭子	鈴木 宏子	新木 昌子	伊庭 文子	野田 絢子	常田 道子
7 (1988-89)	鈴木 宏子	バルク良子	野田 絢子	木下あつ子	鶴飼恵津子	星野 佐登
8 (1989-90)	バルク良子	広瀬 忠子	江藤万里子	須知 繁子	鈴木みつ子	小崎 茂子
9 (1990-91)	広瀬 忠子	常田 道子	白江圭穎子	小林 令	星野 佐登	今井千代子
10 (1991-92)	常田 道子	星野 佐登	木下あつ子	鶴飼恵津子	佐山 昌子	古澤 由紀

日本リージョン年次大会開催記録

リージョン 設立大会	開催日	1982年6月4日～6月5日
	開催場所	京都タワーホテル、パークホテル
	設立委員長	新木 昌子
	コーディネーター	山田 忠子 江藤万里子
	テーマ	友情のかけ橋 The Bridge of Friendship
第1回	開催日	1983年5月30日～5月31日
	開催場所	名古屋観光ホテル
	会長	新木 昌子
	コーディネーター	吉田千鶴子 鈴木 宏子
	テーマ	和合 Unity
第2回	開催日	1984年6月1日～6月2日
	開催場所	神戸国際会議場、神戸ポートピアホテル
	会長	ジーン ジョイス
	コーディネーター	三宮 晶子 野田 絢子
	テーマ	Step by Step
第3回	開催日	1985年5月31日～6月1日
	開催場所	日本生命中之島研修所、ロイヤルホテル
	会長	菊池 悦子
	コーディネーター	江藤万里子 木下あつ子
	テーマ	豊かな糧を Abundant Blessings
第4回	開催日	1986年6月4日～6月5日
	開催場所	名古屋観光ホテル
	会長	盛田 純子
	コーディネーター	須知 繁子 片桐 寛子
	テーマ	順風にのって Sailing High
第5回	開催日	1987年6月9日～6月10日
	開催場所	神戸ポートピアホテル
	会長	八代ふゆ子
	コーディネーター	野田 絢子 泉 和子
	テーマ	心に太陽を、唇に歌を A Light in Our Heart, A Song on Our Lips

第6回	開催日	1988年6月9日～6月10日
	開催場所	京都パークホテル
	会長	高柳 恭子
	コーディネーター	木下あつ子 八木美恵子
	テーマ	過去へ敬意、未来へ躍進
		Honour the Past, Stride Towards the Future
第7回	開催日	1989年6月7日～6月8日
	開催場所	名古屋観光ホテル
	会長	鈴木 宏子
	コーディネーター	豊島 知子 竹内 宏子 葛谷美紀子
	テーマ	飛翔 Soaring
第8回	開催日	1990年5月31日～6月1日
	開催場所	神戸ポートピアホテル
	会長	バルク良子
	コーディネーター	泉 和子 柳川 公子
	テーマ	橋づくり Bridge Builders
第9回	開催日	1991年6月12日～6月13日
	開催場所	宝塚ホテル
	会長	広瀬 忠子
	コーディネーター	杉山満佐子 江藤万里子
	テーマ	一花一葉 心あり
		Tenderness Dwells in Ever the Tiniest of Flowers
第10回	開催日	1992年5月26日～5月27日
	開催場所	ホテルニューオータニ大阪
	会長	常田 道子
	コーディネーター	石本美知子 坂口 正子 豊川三千代
	テーマ	明日をあなたに Give Yourself a Bright Tomorrow

スピーチコンテスト優勝者

	氏 名	論題 題目
カウンスル第1回 1974年2月1日	野田 絢子 (阪神)	日本あいまい文化論
カウンスル第2回 1975年2月5日	渡辺しげ子 (名古屋)	Mother Love
カウンスル第3回 1976年4月19日	(英) ルース サイトウ (阪神)	Language-Freind on Foe?
カウンスル第4回 1977年4月6日	(日) シーラ 松本 (葵)	言葉への理解 もう一つの人生
カウンスル第5回 1978年4月20日	(日) 山田 忠子 (阪神)	母の教え 姑とさくら
	(英) ナミタ ヒロ シャムダサニ (E. 神戸)	Lessons from My Mother
カウンスル第6回 1979年4月18日	(日) 菊池美智子 (芦屋)	行ってらっしゃいの後
	(英) 豊田 彬子 (葵)	On the Toastmistress Road in Japan
カウンスル第7回 1980年4月15日	(日) 小池 和子 (芦屋)	勇気の獲得 2人のマザーから頂いたスピリット
	(英) ルース サイトウ (阪神)	21st Century A Letter to Hillery
カウンスル第8回 1981年4月13日	(日) 石本美知子 (大阪)	我が家の食卓 三人の息子達
	(英) 東浦ゆり子 (名古屋)	Living Overseas My Biggest Gain
リージョン設立大会 1982年6月5日	(日) 茂木あつ子 (東京)	私の人生哲学 私の心をとらえた禅の教え
	(英) ジーン ジョイス (阪神)	Not Enough Time
リージョン第1回 1983年5月31日	(日) 広瀬 忠子 (阪神)	ゆたかな心 限りある命
	(英) 秋沢 桂子 (阪神)	Being an International Person Not Only with Things, But Also with People

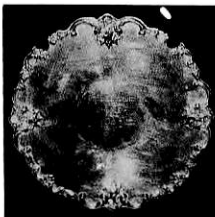
	氏 名	論題 題目
リージョン第2回 1984年6月1日	(日) 杉山 寿子 (栄)	誕生 ミクロの世界
	(英) 泉谷 智恵 (E神戸)	Gift Invisible Wrapping
リージョン第3回 1985年6月1日	(日) 菊池美智子 (芦屋)	育てること 朝の来ない夜はない
	(英) 小木曾薫子 (名城)	Privacy Do You Mind?
リージョン第4回 1986年6月5日	(日) 後藤 俐奈 (青山)	国際感覚 友達の友達は友達
	(英) 小島百合子 (阪神)	Recent Thoughts With Greater Consideration for Nature
リージョン第5回 1987年6月10日	(日) 豊田 尚子 (名城)	大切なこと 手を振るフレンド
	(英) 佐伯きよえ (鳥取)	Education Happiness of a Child
リージョン第6回 1988年6月10日	(日) 広瀬 忠子 (阪神)	グルメ 味の美学
	(英) 杉田喜久子 (阪神)	The Aged in Japan Lessons from Grandmother
リージョン第7回 1989年6月7日 6月8日	(日) 岩佐 圭子 (東京)	心の時代 寅さんとかけそば
	(英) 河崎 瑤子 (錦)	Watching Close Our Eyes
リージョン第8回 1990年5月31日 6月1日	(日) 大野三恵子 (京都)	自問自答 誰の為に
	(英) 中内 順子 (筑波)	Do Something The Way to the Well of Hope
リージョン第9回 1991年6月12日 6月13日	(日) 加藤久美子 (鳥取)	育む 豊かな心
	(英) 福本 弘子 (奈良)	Culture Shock A Baked Apple
リージョン第10回 1992年5月26日 5月27日	(日) 桑原美紀子 (ひろしま)	誘惑 老いたる女はあらず
	(英) 鈴木 成子 (柏)	Dining Table Happy Circle

表 彰

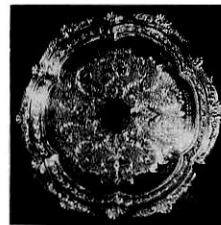
年号	20年以上会員	フルメンバークラブ	最多増設 カウンスル	最多資格認証 取得クラブ
1983	32年 佐伯まさ江 25年 増田はるゑ・林 節子・ 山本 尚 24年 新木昌子・八代ふゆ子・ 盛田純子 20年 鈴木宏子・須知繁子・ 森田千代美			
1984	20年 高柳恭子	豊中・米子	No. 2	
1985	20年 白木保子・吉田千鶴子・ 伊庭文子・菊池悦子・ 広瀬忠子・ ルース サイトウ・ マキシム バスカム	葵・筑波・名城・ 神戸・米子・ 平安・都・大阪・ 豊中		
1986	20年 鶴飼恵津子・佐藤明子		No. 2	鳥取
1987	20年 江藤万里子・三宮晶子		No. 2	京都
1988	20年 古市愛子	葵・名城・東山・甲南・ 岡山・松江・倉吉・関西・ 大阪・京都・平安・都・ 姫路・南大阪	No. 1 No. 2 No. 3	名古屋
1989	20年 ジーン ジョイス・ エブリン オーバライン	名城・柏・阪神・E神戸・ 甲南・姫路・福山・岡山・ 大阪・北大阪・南大阪・ 都・鳥取・倉吉	No. 7	名古屋 神戸
1990	20年 貴田正子・高田朝子・ 豊島知子	東山・阪神・E神戸・ 甲南・岡山・南大阪 千里・京都・平安・ 都・奈良・鳥取・松江		
1991	20年 三木艶子・渡辺百合・ 横山幸子・野田絢子	葵・名城・東山・ぎふ・ 姫路・しらすぎ・福山・ 岡山・東京・岡山あくら・ 大阪・豊中・南大阪・ 堺東・京都・平安・都・ 鳥取	No. 1	米子 都 名古屋
1992	20年 石川浩子・小島百合子・ マヒン モグベル	葵・栄・名城・ぎふ・刈谷・ 関西・姫路・しらすぎ・ 岡山・瀬戸内 大阪・豊中・南大阪・ 京都・平安・都・奈良・ 鳥取・松江・倉吉・出雲	No. 1 No. 6	松江 京都 名古屋

表 彰

年号	そ の 他
1984	会員名簿作成…泉 和子 広報のための標語…津村真澄（永井） ポスター…竹原仁子
1986	会員最多増加…関西クラブ 広報…カウンスルNo.1 最多会員紹介…芦原明子・中村博子 ITC テーマ翻訳…岸本信子・酒井徳子 クラブ会員数の平均最多カウンスル…No.2
1988	最多会員紹介…大島麗子 50周年ポスター…六甲クラブ・姫路クラブ・関西クラブ 功労者…新木昌子 クラブ会員数の平均最多カウンスル…No.1
1989	最多会員紹介…乙野靖子 事務局設立基金募集標語…阪神クラブ
1990	最多会員紹介…芦原明子・宇都宮鏡子
1992	貢献者……新木昌子 ライティング コンテスト ・フィクション 1位…城本 都 ・ノンフィクション 1位…宇都宮鏡子 ・詩 1位…武田綾子 クラブ会員数の平均最多カウンスル…No.6 No.7



スピーチコンテスト日本語優勝プレート
ノーマ W. ユーウィンITC会長より
日本リージョン設立を祝して寄贈
1982



スピーチコンテスト英語優勝プレート
日本リージョン
1983

リージョン大会 教育・訓練のワークショップ

年 号	ワークショップ名	ワークショップリーダー
1982	ワークショップのやり方 平和と友情 レポート百科 婦人の役割 トーストミストレス アラカルト フィルムによるオーストラリアの話	ノーマ ユーウィン (ITC会長) ジェーン ペイン (神戸) 八 代 ふゆ子 (名古屋) 草 野 美奈子 (大阪) 高 柳 恭 子 (名古屋) 伊 庭 文 子 (阪神) 古 市 愛 子 (阪神) ジーン ジョイス (阪神)
1983 (第1回)	トーストミストレス クラブのプログラム作成 資格認証-紹介と説明 私はデリケート-何をしますか 評価-やり方と考え方 翻訳-用語を統一しましょう 広報-何をすればよいのでしょうか 儀典-時と場合 レポート-よいレポートの作り方 ホスピタリティ-新しいアイディア ニュージーランド-興味ある国 ボストン-ITC世界大会について “着こなし”について 声のトレーニング-より美しく話せるために ユーモアを含むスピーチの作成 議事運営手順 クラブ委員会について 平和を通して統一を	豊 田 彬 子 (葵) リン キャバヒル (DIV.VI副会長) 高 柳 恭 子 (名古屋) 常 田 道 子 (京都) 早 川 住 江 (大阪) 田 中 あさ子 (名古屋) 古 市 愛 子 (阪神) 武 内 熙 子 (関西) 木 下 あつ子 (大阪) 中 尾 豊 (芦屋) 芝 千恵子 (芦屋) 広報委員会 小 林 叔 子 ルース サイトウ (阪神) 八 木 美恵子 (関西) 森 田 慶 子 (大阪) 菊 池 悦 子 (阪神) 置 塩 啓 子 (関西) 小 山 孝 子 (京都) バルク 良 子 (神戸)
1984 (第2回)	トーストミストレスの任務 よりよいビジネスミーティング プログラムあれこれ スピーチ テクニック リーダーシップに就いて ディスカッションに就いて 広報活動とは? 展示	ロンダ マッケクニー (DIV.VI副会長) 新 木 昌 子 (名古屋) 鶴 飼 恵津子 (名古屋) 手 束 佳代子 (NHK 大阪放送劇団) 武 田 とし子 (阪神) 高 橋 弘 子 (葵) 江 藤 方里子 (関西)

年 号	ワークショップ名	ワークショップリーダー
	おもてなしとテーブルセッティング もっとよく知り合う為に トーストミストレス (プログラムリーダー) 語彙をゆたかに トースト整理学 もっと多くの視覚補材を 編集のよろこび 神戸の発見 インスタレーションのアイデア どんな色が私を美しくするでしょう 会計の仕事とは? プログラムの表紙作り	伊 藤 英 子 (国際社会の民間外交で活躍) 都 間 和 子 (京都) ロンダ マッケクニー (DIV.VI副会長) 杉 山 満 佐 子 (関西) 大 野 三 恵 子 (京都) 小 崎 茂 子 (大阪) 泉 和 子 (阪神) 土 居 和 子 (E神戸) 安 井 晶 子 (錦) 茂 木 幸 子 (甲南) 戸 田 誠 子 (甲南) 君 野 栄 子 (鳥取)
1985 (第3回)	ITCフォーラム 委員会の機能 スピーチ テクニック 声を出して読んでみよう 資格認証のすすめ 混乱から整理へーファイリング “ラウンドロビン”スタイルのディベートに参加 してみませんか 効果的な話し方 ちょっとやせてヘルシーに変身しましょう 世界の民族衣装 議事法ーITCをよりよく知るために 上手な話の進め方 ゲシュタルト療法による自己成長 オリエンテーションプログラムの作成 儀典と手順 ITCのいろいろな国 Part 1 “オーストラリアへのいざない”	ルース ラム (ITC第一副会長) 新 木 昌 子 (名古屋) グレチェン ウィード (神戸) 臼 村 治 子 (神戸) 入 江 笑 子 (大阪) マキシム バスカム (阪神) 酒 井 基 代 (阪神) 岩 佐 圭 子 (東京) ルース ラム (ITC第一副会長) 大 場 ケイ子 (元アナウンサー、美容研究家) 松 本 敏 子 (国立民俗学博物館研究協力者) 置 塩 啓 子 (関西) 桑 原 美 紀 子 (ひろしま) 高 柳 恭 子 (名古屋) 石 川 祥 子 (葵) ジーン ジョイス (阪神) 井 上 保 子 (阪神)
1986 (第4回)	貴方は優秀な会員ですか ITCアラカルト ITC資料を上手に使いましょう (新しいプログラムの発見)	ジェーン キンジャー (ITC国際会長) 新 木 昌 子 (名古屋) 田 辺 敦 子 (錦)

年 号	ワークショップ名	ワークショップリーダー
	貴方は本当に聴いていますか 指名と選挙の手順 評価する人される人 日本語の話し言葉の特徴 トレーニング イン ライティング 国際児童文庫について ITCを広げるために 美しく話す為に	高柳 恭子 (名古屋) 常田 道子 (京都) 鈴木 宏子 (名古屋) 水谷 修 (名古屋大学教授) 菊池 悦子 (阪神) 柴田 ひさ (筑波) 広瀬 忠子 (阪神) 臼村 治子 (神戸)
1987 (第5回)	プログラムの計画 あなたはリーダー 創造性への自己啓発 聴きかたア ラ カルト スピーチのいろいろ わかりやすい議事法-初歩 あなた自身をもっと好きになるために リーダーシップとコミュニケーション ITC-魅力あるひと ボディ ラングェジ あなたの話し方の長所をみつけませんか? 儀典とマナー バズセッション-可能性への探究 プログラムのアイディア	ゲール コリンズ (DIV.VI副会長) 盛田 純子 (名古屋) 広瀬 忠子 (阪神) 鶴飼 恵津子 (名古屋) 早川 住江 (大阪) 豊田 彬子 (葵) 都間 和子 (都) 武田 健 (関西学院大学学長) 伊庭 文子 (阪神) 神作 保子 (東京) 臼村 治子 (神戸) 佐藤 薫子 (大阪) ゲール コリンズ (DIV.VI副会長) マーガレット キリングスワース (シェラネバダリジョン カウンスルNo.5 会長)
1988 (第6回)	能の「幽玄」の諸相-みやび、ひえ、デカダンス 目で見るやさしい議事法 魅力あるプログラム バズセッション 未来への展望 良きリーダーとなるために スピーチの構成 身近な法律 フォーラム-ITCの現在とその将来 評価-あなたの評価は甘口?それとも辛口?	味方 健 (観世流能演技家) 常田 道子 (京都) 八日市屋多栄子 (神戸) 鈴木 宏子 (名古屋) 三宮 晶子 (阪神) 後藤 俐奈 (青山) 井上 智雄 (宝塚) ジューン ラッセル(DIV.VI副会長) 武内 浩子 (甲南)

年 号	ワークショップ名	ワークショップリーダー
	効果的なコミュニケーションー表現法と聴取法 会議の常識ーロバート規則と私達 ディスカッションへのアプローチ プログラムのヒント ストーリーテリング ヘルシーライフーいつも笑顔でコミュニケーション	白 江 圭穎子 (芦屋) 安 藤 仁 介 (「ロバート議事規則」監修者) 川 崎 瑠 子 (錦) 盛 田 純 子 (名古屋) 長 尾 妙 子 (葵)
1989 (第7回)	ロバート議事規則ー原則と運営 陶磁器の目から見た世界 変わりつつある女性と法律 ー国連女子差別撤廃条約委員会に出席して 議事法のABC プログラム作り スピーチの組み立て方 国際誤解の起こらぬように ーコミュニケーションの面白さ 朗読研修 声を出してみるってどんなこと ディスカッション形態 ワークショップリーダー	安 藤 仁 介 (「ロバート議事規則」監修者) 佐 伯 進 (ノリタケ Co., Ltd.社長) 大 脇 雅 子 (弁護士・法政大学講師) 小 林 章 子 (鳥取) 稲 田 礼 子 (奈良) ルビー ムーン (DIV. VI副会長) 堀 内 守 (名古屋大学教育学部教授) 池 田 和佳子 (社会教育センター講師) 桑 原 美紀子 (ひろしま) 松 下 え ん (東京)
1990 (第8回)	コミュニケーションについて 社会心理学の視点から リーダーシップについて 楽しい議事法 報告書作成の仕方 プログラムのアイデアーこんなプログラムがほしい フォーラムーITCを考える 創造の伝達そして挑戦 プログラム作りのワークショップ 話し方についてー心の架け橋としての言葉 会計の基本ーだれにでもできる会計の仕事 異人館の話と歴史 議事法ー修正 スピーチの構成ーもっと上手に話したい	田 中 國 夫 (関西学院大学社会学部教授) 山 口 健 (YMCAウェルネスセンター所長) 沖 田 道 子 (ひろしま) 木 下 あつ子 (大阪) 小 菅 あけみ (柏) コリン ドラン他 コリン ドラン (ITC国際会長) 臼 村 治 子 (神戸) 蓬 萊 幸 子 (西宮) エブリン オーバライン (阪神) 村 上 美耶子 (関西) 藤 原 文 子 (都)

年 号	ワークショップ名	ワークショップリーダー
	評価について	井 出 智 美 (関西)
1991 (第9回)	ちかごろの日本語 たとえ両手がなくとも 文字に息吹きを－朗読を楽しく あなたにも教育ができます たかが議事法、されど議事法 わが“宝塚” プロトコールとは何か フォーラム－世界のITC事情 秘書学－文書作成の基本 スピーチコミュニケーションの基本 ITCって何？	八 木 亜 夫 (毎日新聞論説委員) 南 正 文 (日本画家) 北 山 たか子 (芦屋朝日カルチャーセンター講師) ルビー ムーン (ITC書記会計) 鈴 木 宏 子 (名古屋) 石 本 美知子 (大阪) アンドレ ブリュウネ (元フランス総領事・立命館大学教授) ルビー ムーン (ITC書記会計) 泉 谷 智 恵 (E 神戸) 八日市屋多栄子 (神戸) 古 市 愛 子 (阪神)
1992 (第10回)	テレビうらばなし より良いコミュニケーションのために あなたを輝かせる色に出会う ITCの宝庫 マイクの上手な使い方 －相手に伝えるスピーチのために 身近な議事法－初級 文書の整理－ファイリングのあれこれ 今、世界のリージョンでは 文楽よもやま話 意思決定のABC ディベートっておもしろい らくらくスピーチ攻略法 誰にでも本が出せます 会計と会計監査－簿記会計の基本を理解して 今、なぜ議事法？	藤 田 太 寅 (NHK解説委員) 木 下 通 之 (ブリジストンスポーツ関西販売機社長) 高 橋 佳 子 (イメージコンサルタント) 新 木 昌 子 (名古屋) 早 田 祐 子 (都) 中 村 美奈子 (九州) 滝 本 政 子 (梅田) 藤 本 博 子 (E神戸) 竹 本 住大夫 (人形浄瑠璃 人間国宝) アニタ L. ヘンスラー (ITC国際会長) 奥 田 小夜子 (錦) 福 本 弘 子 (奈良) 中 村 祐 子 (梅田) 蓬 萊 幸 子 (西宮) 小 谷 貞 子 (京都)

ク ラ ブ 一 覧 表

クラブ名	認証番号 年 月 日	初代会長名
名古屋	273 1949.7.6	A.L.エリックソン
阪神	1594 1966.6.16	山本 尚
神戸	2173 1972.8.1	ダスティ ナイズリィ
葵	2565 1976.4.5	睦田 久子
関西	2566 1976.4.5	辰馬 米子
東京	2668 1977.6.29	市田 弥生
錦	2669 1977.6.29	堀内 廸子
イースト 神戸	2673 1977.7.6	ナミタヒロシヤムダサニ
九州	2674 1977.7.6	長沼美智子
大阪	2754 1978.6.15	早川 住江
芦屋	2755 1978.6.15	天野千嘉子
京都	2824 1979.6.19	山下慧理香
平安	2914 1980.6.3	続木 智子
鳥取	2990 1981.4.1	鶴田 春子
都	3009 1981.6.1	奥富 緑
甲南	3077 1982.3.24	大橋 茂子
栄	3099 1982.5.6	芦原 明子

クラブ名	認証番号 年 月 日	初代会長名
北大阪	3113 1982.9.23	米田 聿子
筑波	3150 1983.6.10	キャッシー バートンルイス
青山	3151 1983.6.10	今井千代子
奈良	3154 1983.6.20	福本 弘子
西宮	3160 1983.7.14	蓬莱 幸子
ひろしま	3171 1983.8.22	桑原美紀子
名城	3192 1984.3.12	沢田 嘉子
六甲	3228 1984.7.19	鳴滝 智子
豊中	3264 1985.3.8	塚原真佐子
米子	3268 1985.3.21	坂口 聡子
姫路	3292 1985.6.25	大谷 清子
東山	3323 1986.4.7	山田八寿子
福山	3327 1986.4.24	武田 綾子
岡山	3331 1986.6.12	黒住千鶴子
尼崎	3337 1986.7.7	喜多 久子
舞子	3341 1986.7.21	中島 博子
南大阪	3356 1987.2.20	山田 嘉子

クラブ名	認証番号 年 月 日	初代会長名
松 江	3358 1987.2.24	田部 陽子
城 北	3359 1987.2.24	坂宮 静
宝 塚	3360 1987.2.24	井上 嘉子
柏	3363 1987.3.20	小菅あけみ
浜 松	3379 1987.6.1	古澤 由紀
千 葉	3393 1987.10.14	田久保節子
北 摂	3394 1987.10.14	永井由美子
梅 田	3395 1987.10.14	中村 祐子
倉 吉	3400 1988.3.7	尾崎 千鶴
サンデー	3403 1988.3.21	山川より子
安 芸	3406 1988.4.5	伊塚真理子
大 分	3417 1988.7.15	鳥巢 裕子
東 葛	3418 1988.7.21	松尾はるみ
サタデー	3423 1988.10.11	岡本邦仁子
境	3435 1989.3.10	松本伊智子
米子マナー	3436 1989.3.10	繁森 明美
飛騨高山	3454 1989.9.25	伊東百合枝

クラブ名	認証番号 年 月 日	初代会長名
千 里	3455 1989.10.4	春次 光子
御 影	3464 1990.1.29	村上 京子
岡山あくら	3484 1990.6.4	池田 都
帝 塚 山	3487 1990.6.6	武井美保子
し ら さ ぎ	3493 1990.7.6	伊賀 武子
出 雲	3492 1991.2.11	岩国 欽子
境 東	3509 1991.3.22	西本 澄子
ぎ ふ	3516 1991.3.22	林 孝子
琵琶湖	3528 1991.6.1	目方ミヨ子
韭 崎	3529 1991.6.1	飯野志津子
千 種	3530 1991.6.10	鈴木 宏子
三 田	3534 1991.7.22	曾山 綾子
瀬 戸 内	3545 1992.2.7	三村 悦子
刈 谷	3546 1992.2.17	市川 文子
とっとり砂丘	3551 1992.4.23	石破 佳子
鴨 川	3552 1992.5.19	中村 慶子

1992年5月現在

ITC役員・委員としての活動

1984-1985	ITC選出役員-副会長Division VI	新 木 昌 子
1990-1991	ITC選出役員-副会長Division VI	バルク 良 子

1975	World Publication	新 木 昌 子
1977	Translation Management	新 木 昌 子
1978	Translation Management	新 木 昌 子
	Accreditation	新 木 昌 子
	Program Education	新 木 昌 子
1979	Endowment Fund	八 代 ふ ゆ 子
	History	バルク 良 子
	Translation Management	新 木 昌 子
	Accreditation	新 木 昌 子
	Accreditation	盛 田 純 子
1980	Endowment Fund	菊 池 悦 子
	History	鈴 木 美 枝 子
	Extension Study	新 木 昌 子
1981	History	東 浦 百 合 子
	Extension Study	新 木 昌 子
	Magazine Liaison	ジーン ジョイス
1982	History	武 田 と し 子
	Extension Study	新 木 昌 子
1984	Magazine Liaison	置 塩 啓 子
	Program Education	野 田 絢 子
	Speech Contest	ジーン ジョイス
	Translation Management	新 木 昌 子
1985	Endowment Fund	貴 田 正 子
	Magazine Liaison	置 塩 啓 子
	Program Education	芦 田 淑 子
	Public Relation	ジーン ジョイス
1987	Endowment Fund	鈴 木 宏 子
	Magazine Liaison	置 塩 啓 子
1988	Endowment Fund	三 宮 晶 子
1989	Endowment Fund	田 中 あ さ 子
1990	Endowment Fund	盛 田 純 子
	Membership	バルク 良 子
1991	Endowment Fund	江 藤 万 理 子

世界大会に於けるプログラム参加の記録

新木 昌子 (名古屋)	1978年 7月16日 第37回 アメリカ サンフランシスコ ランチョンに於いてパネリストを務めた。
高橋美枝子 (葵) (旧鈴木)	1978年 第37回 アメリカ サンフランシスコ インスピレーションを行った。
新木 昌子 (名古屋)	1982年 7月14日 第41回 オーストラリア・シドニー パネリストを務めた。
長沼美智子 (九州)	1982年 7月15日 第41回 オーストラリア シドニー ワークショップのトーストミストレスを務めた。
新木 昌子 (名古屋)	1983年 7月27日 第42回 アメリカ ボストン ランチョンのトーストミストレスを務めた。
ジーン ジョイス (阪神)	1984年 7月 第43回 アメリカ ダラス ワークショップのプログラムリーダーを務めた。
新木 昌子 (名古屋)	1984年 7月16日 第43回 アメリカ ダラス 晩餐会に於いてITC副会長Division VI の候補者のスピーチを行った。
長沼美智子 (九州)	1984年 7月16日 第43回 アメリカ ダラス ワークショップ折り紙の部を担当した。
新木 昌子 (名古屋)	1985年 7月10日 第44回 アメリカ デトロイト 準決勝スピーチコンテストAの議長を務めた。
菊池 悦子 (阪神)	1985年 7月12日 第44回 アメリカ デトロイト スピーチコンテスト本選時のインスピレーションを行った。

八日市屋多栄子（神戸） 神作 保子（東京）	1986年7月21日 第45回 アメリカ カンサスシティ インターナショナルランチで自国の衣装の歴史、素材、着付けのデモンストレーションを行うプログラムに参加した。
鈴木 宏子（名古屋）	1987年7月20日 第46回 カナダ バンクーバー パネリストを務めた。
高柳 恭子（名古屋）	1988年7月17日 第47回 アメリカ オーランド 創立50周年記念大会開会式において会員代表として謝辞を述べた。
新木 昌子（名古屋）	1988年7月17日 第47回 アメリカ オーランド 開会式並びに閉会式に於いて日本の旗の旗手を務めた。
新木 昌子（名古屋）	1988年7月18日 第47回 アメリカ オーランド 決勝スピーチコンテストのテラーを務めた。
バルク良子（神戸）	1989年7月20日 第48回 アメリカ ラスベガス 閉会式に於いて日本の旗の旗手を務めた。
バルク良子（神戸）	1990年7月15日 第49回 ニュージーランド オークランド ITC副会長Division VI の立候補のスピーチを行った。
バルク良子（神戸）	1990年7月16日 第49回 ニュージーランド オークランド スピーチコンテスト ファイナルのトランジショナルソートを行った。
バルク良子（神戸）	1991年7月21日 第50回 アメリカ ワシントンD.C. スピーチコンテスト（予選）のプログラムリーダーを務めた。
置塩 啓子（E神戸）	1991年7月22日 第50回 アメリカ ワシントンD.C. スピーチコンテスト ファイナルのトランジショナルソートを行った。
八日市屋 多栄子（神戸）	1992年7月19日 第51回 アメリカ サン アントニオ 開会式に於いて日本の旗の旗手を務めた。


※当事者申告による記載


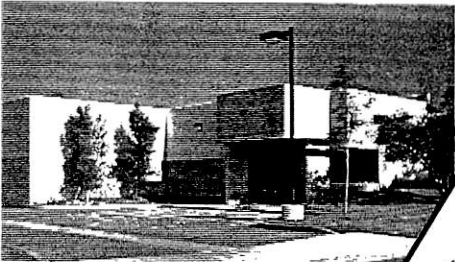
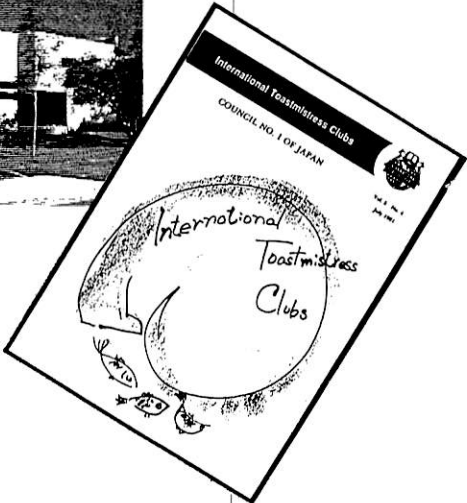
ITC世界大会スピーチコンテスト並びにテープコンテスト出場者

氏名(クラブ)	年 大会回数	大会開催場所	備 考
ルース サイトウ (阪神)	1971年 第30回大会	アメリカ フェニックス	テープ7位
野田 絢子 (阪神)	1974年 第33回大会	アメリカ AONA (ハワイ ホノルル)	テープ2位
ナミタ ヒロ シャムダサニ (E神戸)	1978年 第37回大会	アメリカ サンフランシスコ	テープ3位
豊田 彬子 (葵)	1979年 第38回大会	アメリカ デンバー	テープ
東浦 ゆり子 (名古屋)	1981年 第40回大会	アメリカ アトランタ	テープ1位
ジーン ジョイス (阪神)	1982年 第41回大会	オーストラリア・シドニー	
秋沢 珪子 (阪神)	1983年 第42回大会	アメリカ ボストン	3位
泉谷 智恵 (E神戸)	1984年 第43回大会	アメリカ ダラス	
小木 曾薫子 (名城)	1985年 第44回大会	アメリカ デトロイト	
小島 百合子 (阪神)	1986年 第45回大会	アメリカ カンサス	テープ2位
佐伯 きよえ (鳥取)	1987年 第46回大会	カナダ バンクーバー	
杉田 喜久子 (阪神) 現 (青山)	1988年 第47回大会	アメリカ オーランド	
中内 順子 (筑波)	1990年 第49回大会	ニュージーランド オークランド	
福本 弘子 (奈良)	1991年 第50回大会	アメリカ ワシントンD.C.	
鈴木 成子 (柏)	1992年 第51回大会	アメリカ サンアントニオ	テープ



日本に於けるITCの歴史年表（1949－1992）

	クラブ名 チャーター月・日	沿 革	世界の出来事 国内の出来事
1949	名古屋 7/06	名古屋市駐留の米進駐軍第5空軍将校夫人たちによって、外国人のみでインターナショナル トーストミストレスクラブとして創立された 将来は、全ての会員を日本人にすることを目的にした。 初代会長 A. L. エリックソン	湯川秀樹ノーベル賞授賞 (11月) 1ドル=360円
1951		文部省より正式に日本人が国際団体に加入する許可がおりる。 クラーク M. ジョージ夫人の呼び掛けによって、米国婦人6名、日本婦人22名で役員就任式が行われた。 会長 山本三重子	対日講和条約、調印 (9月) '52年発効(4月)
1966	阪 神 6/16	米国総領事夫人ダフネ ステグマイヤーにより、外国人6名、日本人19名。バイリンガルクラブとして発足。 初代会長 山本 尚	ソ金星に到達(3月) 米月面軟着(6月)
1967		ミュリエル ブライアントITC国際会長(現ITC事務局長) メリー リートンITCスピーチコンテスト委員長(1975～'76ITC会長)とともに、ITC国際役員として初来日。	第3次中東戦争勃発、6 日戦争(6月)
1972	神 戸 8/01	バルク良子、サク サミエル及び、マキシム バスカム(阪神)によって数ヶ国の人たち16名による英語クラブとして発足。 初代会長 ダスティ ナイズリィ *アイ ヨコタITC広報委員長が来日、日本カウンスル設立を促す。 ◎カウンスル設立準備委員会設置。	浅間山荘事件(2月) 沖縄返還 沖縄県(5月) 日中国交回復(9月)
1973	カウンスル設立 8/01	カウンスルNo.1 初代会長 新木昌子(名古屋)就任 ('73/8/01～'74/7/31) 名古屋に於いて就任式が行われる。 カウンスルへの派遣員は各クラブ2名	第4次中東戦争(10月) オイルショック(10月)
1974		◎第1回スピーチコンテスト行う。各クラブより2名出場。 ITCテープスピーチコンテストに野田絢子(阪神)2位入賞。	佐藤栄作ノーベル賞授賞 (10月)
1975		*セルマ マクレランドITC国際会長公式訪問。パトリシア チャーマン、リージョンスーパーバイザー来日。 阪神クラブにウェイティングメンバーが20名を越えたため、増設活動を示唆。	



	クラブ名 チャーター月・日	沿 革	世界の出来事 国内の出来事
1976	葵 4/05 関 西 4/05	*メイ N. ウッドコック北米国地域外ITC副会長来日。 3クラブ例会に出席。	ロッキード事件 (2月) 米・建国200年記念祭 (7月)
1977	東 京 6/29 錦 6/29 イースト神戸 7/06 九 州 7/06	*ノーマ W. ユーウィンITC副会長ディビジョンVIの助 言により、 カウンスルニュースレター創刊(4月) 日本語教育マニュアル 翻訳出版(12月) ユーウィン女史の尽力により、教育マニュアル翻訳に 対して本部より\$1,600の補助をうけた結果、日本語の 教育資料を作成することができるようになった。 	原子の火ともる 世界 5 番目 (4月) 環境破壊兵器禁止条約、 調印 (5月)
1978	大 阪 6/15 芦 屋 6/15	アイ ヨコタITC国際会長来日。(9クラブ合同例会開催) ITCテープスピーチコンテストにナミタ ヒロ シャムダ サニ(イースト神戸)3位入賞。 カウンスルへの派遣員が2名から1名と修正。 ブランチ フォックスレーンITC副会長ディビジョンVI来 日。	新東京国際空港(成田)開 港 (5月) 日中平和友好条約、調印。 (8月)
1979	京 都 6/19	◎リージョン設立の胎動。カウンスル分割とリージョン 研究会を創設。	マーガレット・サッチャー、 初の女性首相 (5月)
1980	平 安 6/03		イラン・イラク、全面戦 争突入 (9月)

	クラブ名 チャーター月・日	沿 革	世界の出来事 国内の出来事
1981	鳥 取 4/01 都 6/01 カウンスル分割 8/01	 <p>カウンスルNo.1、15クラブとなり、3カウンスルに分割。 ○No.1 名古屋、葵、東京、錦 会長 吉田千鶴子 ○No.2 (日英両語使用)阪神、神戸、E神戸、九州、 鳥取 会長 三宮 晶子 ○No.3 関西、大阪、芦屋、京都、平安、都 会長 江藤万里子 ◎リージョン設立準備委員会(ROC)発足。歴代カウンスル会長8名で組織。 委員：新木昌子(委員長)、山田忠子、ジーン ジョイス、盛田純子、菊池悦子、八代ふゆ子、高柳恭子、ジェーンペイン。 ITC本部、アナハイムに移転。 ITCテープスピーチコンテストに東浦ゆり子(名古屋)1位入賞。</p>  	<p>世界総人口44億1500万人 国連統計発表 (2月)</p> <p>英チャールズ皇太子結婚 (7月)</p> <p>福井謙一ノーベル賞授賞 (10月) サダト、エジプト大統領 暗殺 (10月)</p>


	クラブ名 チャーター月・日	沿 革	世界の出来事 国内の出来事
1982	甲 南 3/24 リージョン設立 8/01 栄 8/06 北大阪 9/23	ノーマ W. ユーウィンITC国際会長を迎え、リージョン 設立大会開催。 初代会長 新木晶子(名古屋)就任〔1982/8/01~'83/7 /31〕16クラブ 会員数433名で発足。 テーマ『責任への挑戦』 目標：各カウンスルに2クラブ増設。 翻訳資料の充実。 “ディスカバー ニュープログラム” 会則・常規、採択 任命役員 議会議法、編集、資料 ITC世界大会のスピーチコンテストに初めて日本代表と してジーン ジョイス(阪神)出場。 リージョン会報第1号発刊。 「リージョン旗」出来る	ロッキード判決 (1月)
1983	つくば 6/10 青 山 6/10 奈 良 6/20 西 宮 7/14	公式訪問者 リン キャバヒルITC副会長ディビジョンVI	上越新幹線開業 (11月) 日本初実用通信衛星「さ くら2号a」打ち上げ (2月)
	ひろしま 8/22	第2期 会長 ジーン ジョイス(阪神)就任〔就任1983/ 8/01~'84/7/31〕 テーマ『創造と進歩』 目標：長期 増設の強化。各県に3~5クラブ、カウ ンスルも地域ごとに分割。 スピーチコンテストの一般参加。 短期 各カウンスル例会へ、リージョン役員の公 式訪問者の派遣。 増設強化のための地域調査。 学習として…評価のやり方・会報の利用・ 広報活動の強化。 ITCスピーチコンテストに秋沢珪子(阪神)3位入賞。	アキノ氏暗殺 (8月)


	クラブ名 チャーター月 日	沿 革	世界の出来事 国内の出来事
1984	名城 3/12	* 1月 ルース シェパードITC国際会長、各カウンスルに出席。 カウンスル合同例会において議事法のワークショップをおこなった。 公式訪問者 ロンダ マッケクニーITC副会長ディビジョンVI	現職大統領として、レーガン大統領、初めて中国訪問(4月)
	六甲 7/19	第3期 会長 菊池悦子(阪神)就任〔1984/8/01~'85/7/31〕 テーマ：長期 日本リージョン事務局設立準備金の貯蓄クラブ増設への協力 短期 各クラブ会計・書記の任務と通達経路の指示。 役員による各カウンスル例会に於けるワークショップリーダー、としての指導及び例会の評価。 ◎出版委員会設置。 評価マニュアル完成(教育マニュアルの一部として1983年7月以降入会会員へ無料配布) ITC副会長ディビジョンVIに新木昌子就任1984/8/01~'85/7/31	インディラ ガンジーインド首相、暗殺(10月) 英・中、香港返還協定調印(12月)
1985	豊中 3/08 米子 3/21	  ITC名称及びマーク改正 インターナショナル トローストミストレス クラブズはインターナショナル トレーニング イン コミュニケーションとなる。 ITC会報はコミュニケーターのに改名。 ITC通達により、トローストミストレスはプログラムリーダーに、トピックミストレスはトピックリーダーと変更。 公式訪問者 ルース ラムITC副会長ディビジョンVI	世界人口48億と国連発表(1月) 世界最長(53.85km)青函トンネル開通(3月) 日本電信電話公社はNTTに、 日本専売公社は日本たばこ産業(株)に、国営から民営化(4月) 男女雇用機会均等法可決(5月)

	クラブ名 チャーター月・日	沿 革	世界の出来事 国内の出来事
1986	姫 路 6/25	<p>第4期 会長 盛田純子(名古屋)就任〔1985/8/01～'86/7/31〕</p> <p>テーマ『新たな前進』</p> <p>目標：長期 ITC大会日本開催促進。 一般のスピーチコンテスト参加 日本事務局設立。 国際活動の促進。</p> <p>短期 社会との繋がりを持つ。 各カOUNSルに1～2クラブを増設。 各レベルのコミュニケーション。</p> <p>◎朗読研修特別委員会発足。(名古屋地区・関西地区) ◎ITC通信物翻訳委員会を設置。 ◎ITC特別会計設置。(本部への送金・新入会者の会費取扱) 議事法マニュアル翻訳完成</p>	<p>チェルノブイリ、原発事故(4月) 東京サミット、7カ国蔵相会議設置(G7)(5月)</p>
	東 山 4/07 福 山 4/24	<p>ナンシー ニールセンITC副会長ディビジョンVI来日。</p> <p>公式訪問者 ジェーン キッシンジャーITC国際会長。</p>	
1987	岡 山 6/12 尼 崎 7/07 舞 子 7/21	<p>第5期 会長 八代ふゆ子(名古屋)就任〔1986/8/01～'87/7/31〕</p> <p>テーマ『規則と人間性との調和』</p> <p>目標：長期 日本リージョン事務局の設置。</p>	
	南大阪 2/20 松 江 2/24 城 北 2/24 宝 塚 2/24	<p>朗読研修…1990年までに社会還元の実現。 増設強化…1990年までに50クラブに増設</p> <p>短期 日本リージョン事務局設置準備のため、特別委員会を設け資料保管・発送に絞り依頼先を決定する。 朗読研修を3地区に分け(東京・名古屋・関西)将来社会への還元を目指す。</p> <p>○前期目標(国際活動の促進)に従い、カOUNSルNo2と、シェラネバダリージョン、カOUNSルNo5との姉妹カOUNSル調印。</p>	

	クラブ名 チャーター月・日	沿 革	世界の出来事 国内の出来事
1988	柏 3/20 浜 松 6/01	 リージョン 朗読研修 朗読風景 公式訪問者 ゲール コリンズITC副会長ディビジョン VI	国鉄民営化、JRに (4月)
	千 葉 10/14 北 摂 10/14 梅 田 10/14	第6期 会長 高柳恭子(名古屋)就任〔1987/8/01～ '88/7/31〕 テーマ『個人を超えるコミュニケーション』 目標：長期 日本事務局の設置。 朗読研修。 クラブ増設強化 短期 日本事務局…教育資料・物品類を服部印刷 株式会社へ移し、保管発送業務を委託。 朗読研修…社会還元の実現 委員会扱いと する。 ITC創立50周年記念事業計画。	利根川進、ノーベル賞授 賞(10月)
	倉 吉 3/07 サンデー 3/21 安 芸 4/05	会員名簿のコンピューター入力記録。 【ITC教育の社会貢献：名古屋地区朗読研修会、老人専 門病院において朗読奉仕】 関西地区朗読研修2期生誕生	
	大 分 7/15 東 葛 7/21	 1988年6月ITC創立50周年 全世界一斉風船打上げ	リクルート疑惑発覚 (7月)

	クラブ名 チャーター月・日	沿 革	世界の出来事 [国内の出来事]
	カウンスル分割 8/01実施	<p>カウンスルNo.2・No.3を6カウンスルに分割、7カウンスルとなる</p> <p>○No.2 阪神、神戸、イースト神戸、甲南、六甲、宝塚</p> <p>会長 泉 和子</p> <p>○No.3 関西、芦屋、西宮、姫路、尼崎、舞子</p> <p>会長 置塩 啓子</p> <p>○No.4 九州、ひろしま、福山、岡山、安芸</p> <p>会長 桑原 美紀子</p> <p>○No.5 大阪、北大阪、豊中、南大阪、城北、梅田</p> <p>会長 早川 住江</p> <p>○No.6 京都、平安、都、奈良、北摂</p> <p>会長 藤原 文子</p> <p>○No.7 鳥取、米子、松江、倉吉</p> <p>会長 西尾 瑠璃子</p> <p>◎ITC50周年記念行事行われる。 6月21日、名古屋セントラルパークにおいて記念の風船を揚げる。 記念プログラムとして。 シンポジウム(カウンスルNo.1) 奈良県下の留学生による、日本語のスピーチコンテスト(カウンスルNo.2) 外国人講師を招き、「国際交流を目指して」と題しラウンドテーブル ディスカッション(カウンスルNo.3) 公式訪問者 ジューン ラッセルITC副会長ディビジョンVI</p>	イラン・イラク停戦発効(8月)
	サタデー 10/11	<p>第7期 会長 鈴木宏子(名古屋) 就任〔1988/8/01～'89/7/31〕</p> <p>テーマ『新たな発展へ』</p> <p>目標：長期 日本リージョン事務局、事務所の設置。 朗読研修。 クラブ増設強化。1990年までに50クラブに増設。</p> <p>短期 資料…7カウンスルにアシスタントをおき、資料物品の管理。 翻訳…翻訳者の募集・登録。 ITC特別会計。 会員、役員名簿作成。 暫定事務局設立…事務所を名古屋市内に開設。暫定事務局長 新木昌子 事務局設立基金募集の標語を募る。</p>	

	クラブ名 チャーター月・日	沿 革	世界の出来事 国内の出来事
1991	カウンスル分割 8/01	カウンスルNo.1を2カウンスルに分割、8カウンスルとなる。 ○No.1 名古屋、葵、錦、栄、名城、東山、浜松、飛騨 高山 会長 豊島 知子 ○No.8 東京、筑波、青山、柏、千葉、サンデー、東葛 会長 堀江 祐子 公式訪問者 コリン ドランITC国際会長	イラク軍クウェート侵攻 (8月)
	堺 東 2/11 ぎ ぶ 3/22	第9期 会長 広瀬忠子(阪神)〔1990/8/01~'91/7/31〕 テーマ『識る喜び 行う楽しみ』 目標：内容の充実 無理のない増設。 会計の一元化 事務局のより良い在り方 得た知識の社会への還元。 ◎マスターマニュアル翻訳特別委員会委員を任命。 *セルマ マクレランドITC議会法規役員来日、オープン フォーラム参加。 バルク 良子(神戸)ITC副会長ディビジョンVI 就任 【ITC教育の社会貢献：別府市「若い女性のセミナー」 において講座をもつ。5年継続し、引き続き依頼される (九州クラブ)】	東西ドイツ統一 (10月) 天皇即位 (11月)
	琵琶湖 6/01 葦 崎 6/01 千 種 6/10 三 田 7/22	◎朗読特別委員会解散。長期目標の懸案であった体制が 整い、各グループ独自の社会活動体制を尊重、解散。 公式訪問者 ルビー ムーンITC書記・会計	普賢岳噴火 (11月)
			湾岸戦争に突入と、停戦 (1月)
		第10期 会長 常田道子(京都)就任〔1991/8/01~'92/7/31〕	ロシア共和国をはじめ(6 月)、17の共和国が独立 又は独立宣言、又は主権 宣言する
			ソ連クーデター(3日間) (8月)

	クラブ名 チャーター月・日	沿 革	世界の出来事 国内の出来事
1992	瀬戸内 2/07 刈 谷 2/12 とっとり砂丘 4/23 鴨 川 5/19	<p>テーマ『理と真と』</p> <p>目標：長期 日本に於けるITCの社会性の確立。 質の高いクラブの増設。 日本リージョン分割。 事務局体制の事業化。</p> <p>短期 組織としての伝達技術の向上。 クラブの充実の推進。 10周年記念事業…オリエンテーション・P R用ビデオ製作と沿革史発行。</p> <p>任命役員 議会法規役員、編集者、事務局長。資料は常 任委員会と修正。</p> <p>◎リージョン10周年記念行事として、VTR製作・沿革史 編纂を行う。 VTRは各カOUNSルへ配布、沿革史は全会員へ配布。 マスターマニュアル完成</p>  <p>◎第1回ライティングコンテスト実施。優勝者は世界大 会において氏名を発表。</p> <p>【ITC教育の社会貢献：東海市(愛知)において「コミュ ニケーションのトレーニング」の指導に当る(カOUNSル No.1)】</p> <p>☆表彰……財団法人愛知県国際交流より国際交流推進功 労者の団体表彰をうける。(カOUNSルNo.1)</p> <p>公式訪問者 アニタ ヘンスラーITC国際会長</p> <p>◎世界初の最優秀リージョン賞受賞(7月)</p>	ソ連共産党解体 1ドル=135円

参考資料：日本リージョン、各カOUNSル年次報告書。日本リージョン議事録写し。日本リージョン会員記録。
日本リージョン(1984～'85)歴史委員会報告書。リージョン会報。名古屋クラブの歩み(1949～'74)。
阪神クラブ25年の歩み(1965～'89)。日本ITCの歴史-40周年にあたって-(1949～'89)。キーワー
ド・ウォッチング「日本1948～1992」(現代用語の基礎知識別冊)

註：ゴシック書体は重要な出来事。◎：注目する出来事。*日本でのITC活動、教育に特に貢献の
あった方。

REGION OF THE YEAR

1991-1992 最優秀リージョン賞 受賞

Dear Michiko and members of Japan Region,

I was most pleased to announce at convention that Japan Region received the distinction as the "1991-92 Region of the Year". This recognition is most deserved, and I congratulate each member of the Japan Region for your efforts in helping the region to receive this status. You all can take pride in this accomplishment. In the years to come, I will look back to my visit to your conference as one of the highlights of my presidential year and remember that Japan Region was the "Region of the Year". This outstanding recognition is exceeded only by the warm, gracious hospitality of the members.

My regards to each of you and very best wishes for a productive and fun 1992-93 term.

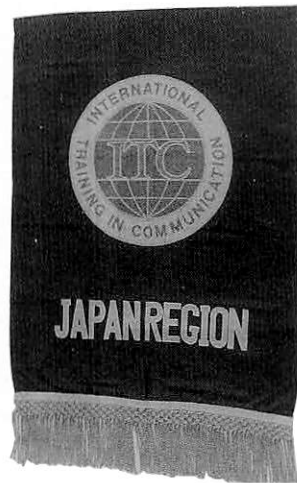
Sincerely,

Anita L. Henzler

1992年7月第51回世界大会（サンアントニオ）においてITCより“Region of the Year”を受賞すると共に、賞金\$500を受けた。

この賞は次の9つの条件を満たしたことを国際役員会が認め、贈られたものである。

1. 会員数5%の増加
2. 1992年5月31日までに1クラブ増設
3. 1992年5月31日までに全クラブ有資格とする
4. リージョン運営研修会 I
 - a. 次期リージョン役員（役員候補者）が100%出席
 - b. 次期常任委員長の80%の出席
 - c. 最低4時間のリージョン運営研修実施
5. 最低8時間のカウンスル運営研修実施
6. カウンスル運営研修への出席
 - a. カウンスル役員80%の出席
 - b. カウンスル常任委員長80%の出席
7. 4回の報告書を期間内に提出
 - I. リージョン会長からディビジョン副会長へ
 - II. リージョン増設委員長からITC第2副会長へ
 - III. リージョン会員委員長からITC次期会長へ
 - IV. リージョン広報委員長からITC広報委員長へ
8. ニュースレターの出版
判定基準：表題ページ、名称、巻番号、出版番号、各巻の独創的な教育記事、ITCの資料の紹介、リージョン目標の状態
9. PREMチームの状況報告（広報、増設、会員）



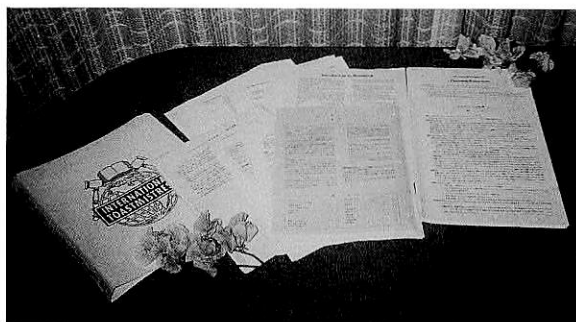
リージョン旗



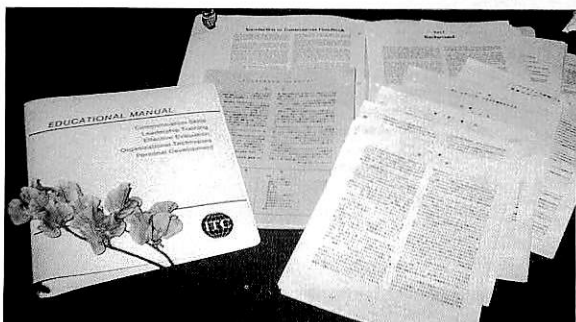
1982年6月 設立大会就任式



リージョン会報 1期～10期



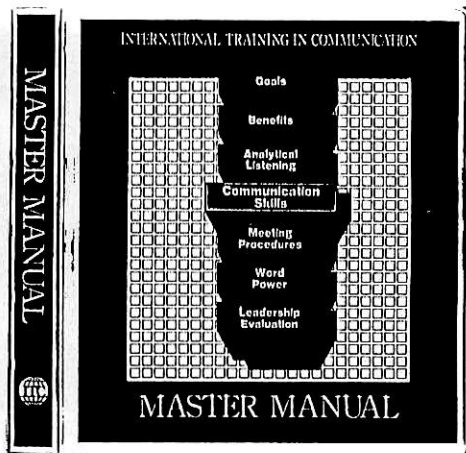
1977年トーストミスレス教育マニュアル



1985年ITC教育マニュアル



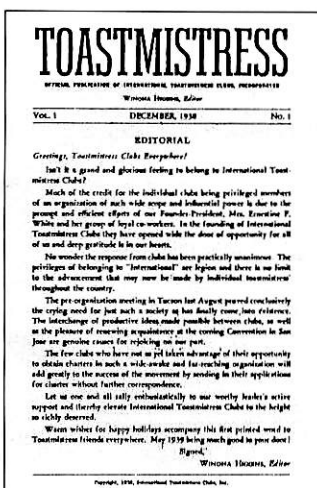
ITC教育資料（日本語版）



1992年マスターマニュアル



1985年議事法マニュアル



1938 ITC ニュースレター 第1号



1992年マスターマニュアル完成の喜び



1951年ジョージ夫妻と共に



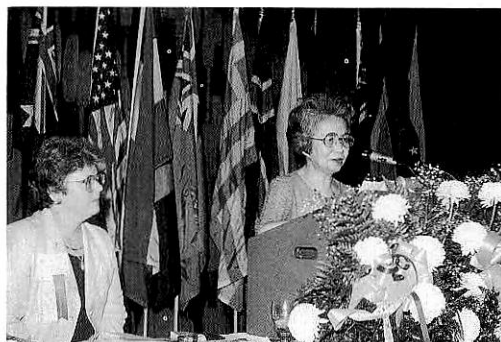
名古屋クラブ初期会合風景



1979年ITC会長より新木昌子ITC功労賞を受く



1984年リージョン大会全クラブ作成旗



1985年7月ITC世界大会
インスピレーション



1984-85年副会長Div. VI新木昌子さん



1990-91年副会長Div. VIバルク良子さん



1988年7月Div. VIの世界大会参加者



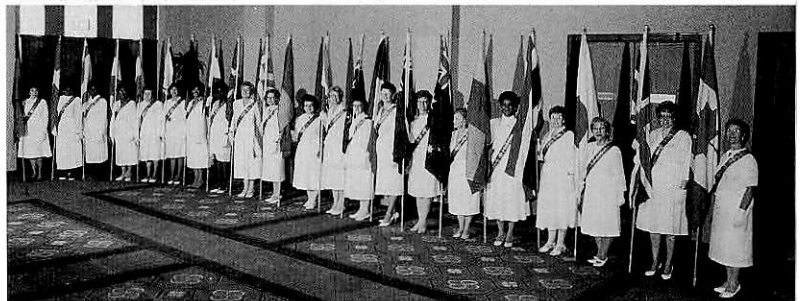
1988年7月ITC創立50周年世界大会
会員代表挨拶

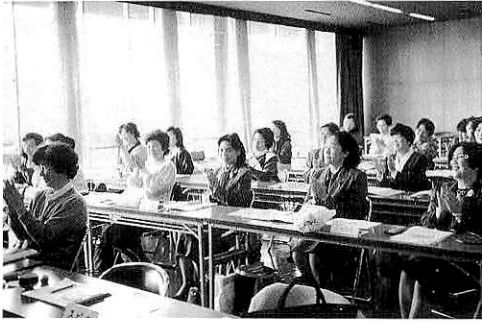


ITC創立50周年世界大会に
日本リージョン1位の(六甲クラブ)のポスターを展示



1988年ITC加盟
世界各国々旗





会員活動風景



ITC カウンシル No.2 第26回
ITC 創立50周年記



留学生による、日本語スピーチコンテスト



1990年カOUNシルNo.1, 愛知県から
国際交流団体知事賞を受く



カウンスルNo.1
1973年に3クラブで発足
現在11クラブ



カウンスルNo.2
1981年に5クラブで発足
現在8クラブ



カウンスルNo.3
1981年に6クラブで発足
現在7クラブ



カウンスルNo.4
1988年に5クラブで発足
現在8クラブ



カウンスルNo.5
1988年に6クラブで発足
現在9クラブ



カウンスルNo.6
1988年に5クラブで発足
現在8クラブ



カウンスルNo.7
1988年に4クラブで発足
現在8クラブ



カウンスルNo.8
1990年に7クラブで発足
現在8クラブ



1992年5月第10回リージョン大会



1992年5月日本リージョン10周年記念式典

編集後記

10周年記念事業委員会 副委員長 江藤 万里子

日本リージョン10周年を機に、日本のITC歴40数年の足跡を辿りながら編纂を致しました。過去に於ける実績の正確な記録を要するため、各カウンスル、クラブの皆様は資料、写真のご提供をお願い致しました。皆様のご協力と、ご援助のお陰で沿革史を価値あるものとして纏める事が出来たことを厚く御礼申し上げます。

お忙しい中、お送り頂きましたお写真は頁数の関係で、掲載出来ず、皆様のご期待に添えず断念致しましたものが数多くございましたことを、お詫び申し上げます。

この度の沿革史制作にあたって、参考資料はP.45に記載致しましたものと当事者の申告によるものです。毎年度の記録、史実等、永久保存すべきものの引き継ぎが如何に大切であるかという事を、委員は実感いたしました。

日本リージョンの輝かしき発展の歴史ともいふべきこの沿革史の完成を、みなさまと共に喜びを分かちあえることを感謝いたします。

日本リージョン10周年記念事業委員会

委員長 高柳 恭子

副委員長 江藤 万里子

委員 泉 和子

秋山 美代子

長沢 久子

発行日 1992年7月31日

発行 日本リージョン

発行責任者 常田道子

制作 日本リージョン10周年事業委員会

印刷 株式会社 イシタイプセンター

大阪市東成区大中道3丁目14-12(〒537)

TEL 06-971-1988